令和7年3月17日

令和7年第1回奥多摩町議会定例会会議録
(予算特別委員会)

令和7年3月13日 閉会

令和7年3月18日 閉会

西多摩郡奥多摩町議会事務局

令和7年第1回奥多摩町議会定例会予算特別委員会 会議録

1 令和7年3月17日午前10時00分、第1回奥多摩町議会定例会予算特別委員会が奥多摩町議会議場に招集された。

2 出席議員は次のとおりである。

第1番	榎戸 雄一君	第2番	伊藤 英人君	第3番	森田 紀子君
第4番	相田恵美子君	第5番	大澤由香里君	第6番	澤本 幹男君
第8番	宮野 亨君	第9番	高橋 邦男君	第10番	原島 幸次君

《傍聴議員》

第7番 小峰 陽一君（議長）

3 欠席議員は次のとおりである。

なし

4 会議事件は次のとおりである。

別紙本日の『議事日程表』のとおり

5 職務のため出席した者は次のとおりである。

議会事務局長 新島 和貴君 議会係長 小峰 典子君

6 地方自治法第121条の規定による出席説明員は、次のとおりである。

町 長	師岡 伸公君	副 町 長	井上 永一君
教 育 長	野崎喜久美君	企画財政課長	杉山 直也君
若者定住推進課長	坂本 秀一君	総 務 課 長	山宮 忠仁君
住 民 課 長	岡部 優一君	福祉保健課長	須崎 洋司君
観光産業課長	大串 清文君	自然公園施設担当課長	神山 正明君
環境整備課長	坂村 孝成君	環境担当主幹	原島 保君
会計管理者	岡野 敏行君	教 育 課 長	清水 俊雄君
病院事務長	岡部 勝君		

令和7年第1回奥多摩町議会定例会
予算特別委員会議事日程〔第2日〕

令和7年3月17日(水)
午前10時00分 開議

日程	議案番号	議案名	結果
1	—	委員長開議宣告	—
2	議案第20号	令和7年度奥多摩町一般会計予算	
3	議案第21号	令和7年度奥多摩町都民の森管理運営事業特別会計予算	
4	議案第22号	令和7年度奥多摩町山のふるさと村管理運営事業特別会計予算	
5	議案第23号	令和7年度奥多摩町国民健康保険特別会計予算	
6	議案第24号	令和7年度奥多摩町後期高齢者医療特別会計予算	
7	議案第25号	令和7年度奥多摩町介護保険特別会計予算	
8	議案第26号	令和7年度奥多摩町下水道事業会計予算	
9	議案第27号	令和7年度奥多摩町国民健康保険病院事業会計予算	

(午後4時47分 延会)

午前 10 時 00 分開議

○委員長（榎戸 雄一君） 皆さん、おはようございます。

これより予算特別委員会を再開します。

直ちに、会議を開きます。

これより 13 日の本委員会第 1 日に説明を受けた各議案の質疑を行います。

はじめに委員にお願いがあります。一般会計の質疑においては歳入から行いますので、お間違いのないようお願いいたします。歳入の質疑が全て終了後、一般会計の歳出の質疑を行います。歳出は款別に幾つかに区切って行います。款の区切りについては、その都度質疑の款を示しますので、お間違いのないようお願いいたします。

なお、都民の森特別会計以降は、歳入、歳出一括で質疑を行いますので、よろしくお願ひいたします。

次に、答弁、説明者にお願いがあります。歳入の質疑についてですが、歳入の項目及び質疑によっては、歳出との関連する、または対応する事業が多くありますので、歳出に連動する事業の歳入の説明については、各事業内容等を理解しやすくするために歳出のページを示した上で、歳出も含めて一括で答弁、説明を簡潔に行っていただくようお願いいたします。

また、質問される委員にお願いします。只今説明者に理解しやすい説明を簡潔に行っていただくようお願いしましたが、説明者が質問内容を十分理解できるよう 1 回の質問につき 3 項目までとし、簡潔な質問内容となるようお願いいたします。答弁漏れなく理解を深めるためにもご協力をお願いします。

それでは、議案第 20 号 令和 7 年度奥多摩町一般会計予算の歳入の質疑を行います。質疑のある委員は挙手願います。5 番、大澤委員。

○5 番（大澤由香里君） 5 番、大澤です。

歳入の 33 ページ、目 02 民生費都補助金の節 02 社会福祉費補助金のところ。最下段の高齢者補聴器購入費助成費事業、高齢者聞こえのコミュニケーション支援事業補助金 218 万円ということで、かねてより多くの高齢者の悲願でありました補聴器購入補助制度を実現していただきましてありがとうございます。歳出も関連して 102 ページです。すみません。歳出のページをお示しするのを忘れていました。102 ページ、項 01 社会福祉費、目 (26) 高齢者補聴器購入費助成事業費のところ。上限 7 万円で、他市町村に比べて結構高い基準でやっていただきましてありがとうございます。65 歳以上の方 48 人を想定してという予算ということですが、具体的な申請手順とか決まっていたら教えてください。

さい。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 5番、大澤委員のご質問にお答えいたします。

歳入につきましては33ページでございますが、歳出のほうのページをお開きいただきたいと思いますが、ページでは102ページとなります。高齢者補聴器購入費助成事業で、ご質問としては申請の流れということですが、まずこちら申請については、今後この事業の内容をパンフレットなどを作って、65歳以上の方に対して郵送で個別にお送りさせて周知をさせていただきます。パンフレットより先に広報やホームページでその内容についてお知らせをさせていただきますけれども、基本的には購入をして申請ではなくて、最初にうちに申請に来ていただいて、その後、指定の補聴器の専門業者から見積りをいただいたりしながら、また、医師の診断書なども取っていただいて、その上で申請をしていただいて、それで決定をするという流れになりますので、今後、皆様には周知してまいりますので、お願いしたいと思います。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。9番、高橋委員。

○9番（高橋 邦男君） 9番、高橋です。

29ページをお願いします。都支出金のちょうど29ページの下の枠のところ。都補助金の市町村総合交付金15億1,800万円。6年度に比べると8,800万円増ということで計上されています。よく見ますと、地域特選事業枠が大幅に、金額でいうと、6年度は200万だったのが9,000万ということで、これは町の特別な事業を実施するためということだと思うんですけど、その辺の内容を教えてくださいたいと思います。

ついでに予算案で計上する見込額なんですけど、実際の交付額とは大きく違う場合が多いんですけど、町で想定した金額なのか、それともある程度都との協議を経て算出した金額なのか。その辺も併せて説明していただければありがたいです。お願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 9番、高橋委員のご質問にお答えいたします。

ページ29ページの都支出金の補助金の中の市町村総合交付金のご質問2点いただきました。

1点目の今回市町村総合交付金8,800万ほどの増額ということで計上させていただいてございます。その中で増額になっているのが地域特選事業枠ということで増額をさせていただいてございます。こちらにつきましては、令和6年度もそうだったんですけども、

東京都の職員の方が視察に来られたときに、川井の松葉の分譲地の事業をご視察いただいた中で、そちらの事業が対象になるということでご指摘をいただいたというところで、令和6年度につきましてもそちらを計上させていただいて交付額が伸びたというのが一つございます。

そんなところもありまして令和7年度につきましても丹三郎水神前の大型事業がございますので、そちらに充当を見込みまして、この増額を計上させていただいているというところがございます。

2点目につきまして、予算額につきましては町で想定した金額なのか、ある程度東京都と協議をした金額なのかというところがございます。前段で予算の計上のときには、東京都の協議というのは特にございませんので、町のほうの全体の事業を見ながら、先程も申し上げましたように、来年度の大型事業に充当できそうだということで、今回は8,800万円の増額をさせていただいたと。

ただし、地域特選事業枠以外は同額で見込んでおりますのは、いつも東京都からは市町村総合交付金のほうは固めに見込んでほしいということで指示がございますので、令和7年度につきましても東京都との財政事情の調査、また奥多摩町に来ていただいて、現地を見ていただく機会も多くございますので、そういった中で町の特殊事情をご説明させていただいて、交付額の増額に努めてまいりたいと存じますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。4番、相田委員。

○4番（相田恵美子君） 4番、相田です。

3点ございます。よろしいでしょうか。1点目がページが15ページ、款01町税、項02固定資産税、目01固定資産税の説明のところ、償却資産、昨年度より約1,000万以上多くなっておりますけれども、内容について伺いたいと思います。

2点目でございます。2点目が36ページです。款13都支出金、項02都補助金、目03「衛生費都補助金の説明のほうの下から2つ目の事業、食育推進事業費、区市町村食育推進活動支援事業費補助金、補助率が2分の1、今年度7年度が83万9,000円ですけれども、昨年度より約半分以下の予算になっております。令和5年度はちょうど100万でした。少なくなった理由を伺います。

3点目でございます。ページが41ページでございます。款15都支出金、項03都委託金、目01総務費委託金、節03統計調査費委託金、説明の国勢調査費でございます。今年は5年に1度の国勢調査が行われるということで、この調査員の確保はどのようにされる

のか。また、報酬は、お答えできる範囲でいいんですけども、どれぐらいかかるのかというのを伺います

以上3点です。お願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 住民課長。

○住民課長（岡部 優一君） 4番、相田委員のご質問にお答えいたします。

只今のご質問は15ページにあります固定資産税の説明欄にある償却資産が増えているその理由はということでございます。こちらにつきましては、固定資産の償却資産が増えているということで、大臣配分というものがございまして、複数の市町村をまたがるもの、例えばですけど、JR、KDDI、NTT、東京電力、こちらの施設につきまして、主にJRで工具、器具及び備品というところで、具体的なものは分からないんですけど、車両以外のものの器具等が増えているというものが主な理由で増額となっております。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 4番、相田委員の2点目のご質問にお答えいたします。

歳入でページが36ページ、食育推進事業のところ、昨年度と比べて約半分程度になっている理由ということでございますけれども、こちらにつきましては、食育推進計画ということで、その策定業務委託を行ったことから今年度歳入が多かったということで、その計画が皆減という形になりましたので、歳入も減となったということでございます。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 総務課長。

○総務課長（山宮 忠仁君） 4番、相田委員さんの3点目の質問でございます。41ページの統計調査費の委託金、この中の国勢調査費の関係ということでございます。歳出と関連がございますので、そちらで説明をさせていただきたいと思っております。86ページでございます。86ページ、項01統計調査費、目01基幹統計費、この中の(02)国勢調査費でございます。5年に1度のということで今年の秋10月に調査基準日ということで実施をさせていただく予定となっております。

調査員のちょっと確認なんですけど、人数と報酬額でしょうか。

○4番（相田恵美子君） 調査員の確保はどういう形で。

○総務課長（山宮 忠仁君） 確保ということですか。調査員の確保ということでございます。基本的には奥多摩町役場の場合ですと、従来から役場の職員が調査員という形でメインはやらせていただいているということになります。また、そこだけで足りない場合は

社会福祉協議会の方とか、そういった関連の団体の方に調査員をお願いしているような状況でございます。

報酬の関係のお話をされたかと思えます。こちらのほうで 86 ページの国勢調査費の節 01 の報酬というところがありますけれども、この説明欄のところに指導員と調査員の報酬ということで 407 万 2,000 円ということで載せてございます。指導員が積算上 8 名、調査員が 66 名というような積算で、現在のところ予算計上させていただいているということでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 4 番、相田委員。

○4 番（相田恵美子君） ありがとうございます。最後の国勢調査費についてお聞きしたいんですけど、調査員は役場の職員がされるということ、これは勤務外になるんでしょうか。

○委員長（榎戸 雄一君） 総務課長。

○総務課長（山宮 忠仁君） 4 番、相田委員さんの再質問のほうにお答え申し上げます。

国勢調査に係る調査員の調査ですけれども、勤務時間外ということで区別してということで報酬をいただいていますので、そういう形の指導というふうになります。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。10 番、原島委員。

○10 番（原島 幸次君） 10 番、原島です。

1 点だけ質問させていただきます。ページ数が 37 ページ、款 15 都支出金、項 02 都補助金の目 04 農林水産業費都補助金で、前年度が 1 億 6,100 万円、今年度が 1 億 3,300 万、今年度はマイナスの 2,839 万 3,000 円になっております。この森林の多い奥多摩、94%の山を持っている奥多摩、或いは川も日原川、多摩川と内水面漁業のいろいろございます。それからシカ対策、或いは獣害対策にも動物もいっぱい出てきて大変な目に遭っております。東京都のこの補助金がどうしても大事でございます。この 2,839 万 3,000 円マイナス、前年より増えていけばいいんですが、今年度マイナスというのは何か理由があるのかなど。できればもっと増やして、シカ対策に当たっていただいて、このままいきますと、シカが出過ぎちゃってもう畑ができないという声を町全部から聞いております。これを何とかしていかないと、いずれは畑をやる人が誰もいなくなっちゃって、ワサビ田もシカに食われるし、それから畑のジャガイモ、野菜関係も全部イノシシとサルにやられてしまいます。そうしますと、農業をやらなくなれば草ぼうぼうになって、それこそ荒れた地にな

る。そんな荒れた奥多摩にはなってもらいたくないものですから、どうしてこのような理由にマイナスになったのか、お聞かせいただければと思います。よろしくをお願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 10 番、原島委員のご質問にお答えいたします。

歳入 37 ページの目 04 農林水産業費都補助金、前年度比 2,839 万 3,000 円の減ということでございますけれども、委員ご懸念のシカ対策の部分でございますが、節 01 の農業費補助金の減額は 20 万 9,000 円でございます。大きな部分としましては、次のページ 38 ページ、節 03 の水産業費補助金、こちらが前年度比 2,090 万 9,000 円の減額となっております。こちら 7 年度につきましては説明欄記載のとおり、町内の内水面釣場等の改修の工事に充てているわけですが、前年度におきましては、大丹波の釣場であったり、大沢の釣場等の工事費の皆減がございましたので、その減額がこの目全体の減額の大きな理由でございます。

委員からご指摘ありました獣害対策につきましては、若干の減、20 万の減はございますけれども、担当課としましては引き続き財源を確保して対応しておりますので、ご理解いただきたいと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。3 番、森田委員。

○3 番（森田 紀子君） 3 番、森田です。

3 点ほどお伺いします。

ページ数 15 ページ、款 01 町税、項 01 町民税、目 02 法人、その中で法人税割額が今年度 1,114 万 5,000 円になっておりますが、前年度が 1,180 万 2,000 円、令和 5 年度が 1,472 万 8,000 円、そして決算なんです、令和 5 年度の決算で、収入が 824 万 7,000 円、この令和 7 年度の金額を算定した根拠を教えてください。

2 点目ですが、ページ数 41 ページ、すみません、ちょっと上のところが分からないんですけども、ツキノワグマ緊急対策事業委託費、今年度から 2 分の 1 になってしまったんですが、その変更になった理由を教えてください。

そして、ページ数 20 ページ、款 13 使用料及び手数料、項 01 使用料、目 04 商工使用料の説明欄のおくたまコミュニティセンターの使用料と、あと、ねねんぼうの使用料なんです、もえぎの湯が改装したのに使用料を上げないのかと、ねねんぼうが 50% 値上げしたその理由を教えてください。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 住民課長。

○住民課長（岡部 優一君） 3番、森田委員のご質問にお答えいたします。

まず1点目のご質問ということで、ページが15ページ、町民税の法人の法人税割額の算定というところで、まず根拠はというところがございます。こちらの法人税割額というものは、法人に関わる決算といいますか、法人の決算をいたしまして、それに基づきましてまず申告と納付をしていただくという仕組みでございます。こちらにつきましては、例えば役場ですと、会計年度が4月から3月ということの1年間を取っておりますけれど、法人さんによっては事業年度が変わるというところがございます。4月、3月が一番多いところなんですけれど、例えば1月から12月というところもまずございます。その決算を基に法人税、国税のほうの計算をしたと同時に、この法人住民税というものを算定する仕組みになっております。

ご質問のまず額がというところで、決算を何年か見ていただきまして、まさに波があるというところを感じていただいたところであると思うんですけれど、町のこの法人税割額を出すのが非常に難しく、1つは実績ベースのものと、あとは混合のものを想定しまして算出しております。

ちなみになんですけれど、令和6年度の現時点ですけど、動くとは思いますが、1,900万円ほどを見込んでおりまして、令和3年度あたりはかなり額が増えている状況でございます。その後減っているというところでもあります。多くの理由なんですけれど、税割は一定額を超えないと納めるということがございませんので、多くの納めている法人さんの内容といたしますと、公共事業を請け負っている建設業と金融業とかもあるんですけど、波が大きいのはやはり建設業とか、請負の状況によりまして多く受注があればこの税割額が増えていく、少ないと減っていくというところがございます。その年度によってどうしても額が大きい年、少ない年がございます。来年度7年度の事業につきましては、本年の実績見込み、それとある程度またルールがありまして、決算を終えて一度納めた後に一定額を超えますと、その半年後に納付をするという仕組みが、予定納付というものがございます。そちらにつきましては来年の中旬ぐらいまでの部分につきましては、ほぼ確定をしておりますので、そちらの額を採用いたしまして、その後につきましては予測という形でこの額のほうを計上させていただいております。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 3番、森田委員の2点目、3点目のご質問にお答えをいたします。

まず2点目でございます。歳入 41 ページ、目 04 農林水産業費委託金の中の節 02、ツキノワグマ緊急対策事業委託金の減額理由でございますが、こちら令和元年、クマの出没等が増加いたしましたして、人的被害等も発生をして、町として東京都に対しまして緊急対策の要望を行ったところでございます。その緊急要望に応じまして東京都から令和2年度から6年度までの5か年については、緊急対策という形の中で10分の10予算のほうを確保できたところでございますが、5か年経過したということで、7年度以降補助率2分の1という形で、奥多摩町に限らず、近隣市町村もクマの目撃等も増えており、八王子、更には町田のほうも一昨年ですか、目撃もありましたので、その出没通地域の関係市町村に対する補助事業という形で再編がなされて2分の1という補助率となりましたので、ご理解いただきたいと存じます。

続いて3点目でございます。歳入 20 ページ、目 04 商工使用料の中の観光施設の使用料についてでございますが、まず、ねねんぼうの増額でございますけれども、本議会の初日に指定管理の更新ということで、株式会社T C Aさんにご決定いただいたところでございますが、これまで3か年については段階的に使用料を上げるという形でして、4年目更新となりましたので、満額で71万4,000円を7年度については使用料として求めるものがございます。

一方、関連でおくたまコミュニティセンターもえぎの湯のご指摘があったところですが、こちら2か年かけて改修を行っているところでございますけれども、関連にもなりますが、氷川国際釣場のほうを今回20万2,000円増額したのは、こちらは令和4年度にバーベキューハウスの増設を行った関係がございましたので、その増設の面積といいますか、設備に応じて増したものでございます。

一方、おくたまコミュニティセンターについては、20年余り経過して経年劣化という形の中で、特に増設をしたお風呂を更新という形、食堂も更新という形で増設をしたという状況ではございませんので、今回増額にはなっていないということでご理解いただければと存じます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。6番、澤本委員。

○6番（澤本 幹男君） 6番、澤本です。

2点ほどですが、1点目です。今のおくたまコミュニティセンターの関係で、2か年改修して、その前の令和4年、5年は使用料として1,500万ぐらいの予算を組んでいて、それで令和4年ぐらいは930万とか、5年度は600万とかいろいろ売上げが、要するに使用

料の減免があったり、そういうことがあって減らしたことがあります。そして、5年、6年については改修ということで、3か月間収入も減るということで対応したり、また、途中、もえぎの湯の入浴料を上げたりして努力はしているとは思いますが、そういう意味で、要するに、2か年して改修したから、どこかでいろんな意味で入浴料もそうですが、家賃を上げるということも少し考えてもいいんじゃないかと思うんですけど、いろいろ諸事情があって、確かにやっているほうも大変なのは分かるんですけど、前はなんていったって1,500万の予算組んでいて、町にとっては大事な収益の一つになったものですから、それが934万ということで非常に少なくなっているわけで、もし上げられる、そういう交渉ができるならばどうなのかなと思ひましてお聞きしたいと思ひます。それが1点目です。

2点目なんですが、17ページで森林環境譲与税の件なんですが、森林環境剰余税で説明欄の中の庁舎建設で、これ800万ということで、材木の搬出ということで多分使われるんでしょうけど、町長の施政方針の中で、これをできれば有効使いたいということのお話もありまして、もし可能ならば使ってもらいたいんですけど、でも、実際に環境譲与税というのは使い道が限られていて、森林の林道用の作業道路を造るとかいう細かい規制があると思うんですけど、もし可能ならば、いろいろな面に使われているんですけど、実態的に800万でしか使えないのかどうかという問題も含めてご説明いただきたいと思ひます。よろしくお願ひします。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 6番、澤本委員の1点目のご質問についてお答えをいたします。

歳出20ページ、目04商工使用料、観光施設使用料の中のおくたまコミュニティセンターについてご指摘をいただいたところでございます。こちら今年度7年度については934万4,000円、こちらの使用料につきましては、町の行政財産使用料審査会における決定に基づいての算定でございます。

委員ご指摘のように、令和4年度に指定管理者である奥多摩総合開発からの申請に基づいて見直しを行い、その際、観光施設の関連については、利用効率という形で1.0に対して、もえぎの湯についてはその見直しの際に0.6という形に見直しをさせていただいたところでございます。

この利用効率については、もえぎの湯だけではなく、ほかの観光施設等においても基準に基づいての見直しでございますので、今後、見直しに当たっては、この率自体を見直しして、もえぎの湯にかかわらず、ほかの施設も全体的な部分に波及してまいりますので、

担当課としましては、まずは各施設、もえぎの湯もそうですけれども、リニューアルをして収益を上げる、ほかの観光施設についても収益を上げるためには、やはり町として観光をPRして多くの方に来町いただくというところがあるかと存じます。

そういった点で町全体の来客を増やし、各施設の売上げに繋がるような形で、担当課としても観光協会含め、各施設とも連携しながら観光PRに努めてまいり、将来的に各施設の黒字という中で、現時点の基準の利用効率の見直しができるのか検討してまいりたいというふうに考えますので、ご理解いただきたいと存じます。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 6番、澤本委員からの2点目のご質問にお答えをいたします。

歳入のほうは17ページの森林環境譲与税の中の一番上のところの庁舎建設整備事業に800万円を充当するというので、歳出のほうでは委員からご説明がございましたとおり、67ページの庁舎建設整備事業の中の立木伐採搬出等作業委託という計上を今回させていただいてございますので、そちらに充当するという予定でございます。

ご質問としては、森林環境譲与税の用途は限られているけれども、もっと庁舎建設に使えないのかというようなお話かと思えます。令和7年度につきましては、この森林環境譲与税が使えるものとしては、庁舎建設整備事業としてはこの立木の搬出事業ということで見込ませていただいておりますけれども、今後、工事のほうは8年度、9年度と続いていく中で森林環境譲与税が使えるようなものがあれば使っていきたいなと思っています。1つには多摩産材の補助金を使うんですけれども、その裏財源で一般財源が当然出てきてしまうので、そういったところに充当したりだとか、その辺りは東京都の産業労働局のほうにしっかりと説明して許可をいただかないと補助金はつかないものですから、担当課といたしましては、今既にいろいろ協議を設計会社と行っているところなんですけれども、説明をして森林環境譲与税のほうを使えるような形で考えていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 6番、澤本委員。

○6番（澤本 幹男君） ご答弁ありがとうございました。コミュニティセンターの関係で、課長から利用効率を上げていくというお言葉をいただきましたので、今まで見てみると、何か各施設からの減免申請、確かにコロナがあったからしょうがない部分はあるんですけど、いろいろかかっているんですから、そういう部分で少しは町としても収益を上げ

られるところもそろそろ考えてもいいと思うんですよ。確かに事業者にとっては大変だから減免申請でここ何年かずっと減免ばかりでしょう。上げてくれというところはないかと思うけど、でも、少なくともそういう意味で、少しでも上げられる要素があるんだったら、それでお客さんが大勢来ることによって、町でも少しでも収入が上がることをそろそろ考えていただければと思いますので、よろしくお願いします。

以上です。返答は結構です。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。5番、大澤委員。

○5番（大澤由香里君） 5番、大澤です。

ページ数 47 ページ、諸収入のところなんです。一番上の民生費貸付金元利収入のところなんですけども、平成19年の台風第9号救済資金償還金と令和元年度台風第19号の救済資金償還金、それぞれ94万3,000円と216万と計上されていますが、利用された方は何人ぐらいいて、どれくらい返されているのかというのと、今、物価高で非常に苦しいんじゃないかと思うんですが、その辺の事情等を含めてお知らせいただければと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 5番、大澤委員のご質問にお答えいたします。

ページが47ページ、災害援護貸付金元利収入のところでございます。まず平成19年台風9号の関係で貸付けといたしましては2人で3件、また、令和元年度台風19号の関係で1人1件という形で、3の方が利用されているということで、予定どおり償還という形でしていただいておりますことをご理解いただければと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） 3番、森田です。

ページ数 39 ページ、款 15 都支出金、項 02 都補助金、目 06 土木費都補助金、節 02 住宅費等補助金、令和5年度にはない財産管理費という、すみません、説明欄 01 住宅費等補助金の中で、空家利活用等区市町村支援事業補助金の中で、財産管理費、補助率2分の1、375万円がついているんですが、これはどのような活用をする補助金なのか、教えてください。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 3番、森田委員からのご質問にお答えいたします。

ページ 39 ページの土木費都補助金の中の空家利活用等区市町村支援事業補助金の財産管理費、これは充当先が書いてあるとご理解いただければと思うんですけど、これの内容ということでよろしいですか。それですと、歳出のほうで申しますと、財産管理費ですの

で、65 ページをお開きいただきたいんですが、よろしいですか。財産管理費のページの一番上のところなんですけれども、氷川登記町有地整備工事ということで記載させていただいて、解体をしてその後、整備する事業なんですけれども、そちらのほうの財源として、こちらに載せさせていただいているということでご理解をお願いいたします。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） ありがとうございます。登記の住宅の解体費用ということで、こちらの登記の登記町有地整備工事なんですけど、こちらは平成 29 年に、すみません、聞き漏らしてしまったんですけども、いただいたか、町のほうで買ったかということだと思うんですけども、こちらは何かを使用して利用していたのかどうか。そして、もしもらった場合とか、購入した場合、解体費用は町が全部税金で出すというのはいかがなものかと思うんですけど、いかがでしょうか。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 3番、森田委員からの再々質問いただきました。同じく 65 ページの氷川登記町有地整備工事の内容でございます。こちらについては町のほうで購入をした物件になります。

それで購入して解体を町のお金でやるのはどうかというようなお話かと思えますけれども、解体費用までを見込んで購入していないんですけれども、当然、今、町の財産になっておりますので、そちらは町の費用で補助金も今回活用させていただくので、そちらは補助金を活用しながら解体していくということでご理解いただければと思います。

利用していたのかということで、こちらは奥多摩モータースさんの工場と一緒に購入した経緯がございまして、そのオーナーの方が住んでいらっしゃったんですけども、購入した後もそこを引き続き居住されていたということで、その後、出られたんですけども、ただ中の家財がかなり残ってしまっていて、その片づけに時間がかかってしまって、直近まで手が出せなかったというような状況でございます。今は特に老朽化が著しいので、何の活用もできていないので、ここで解体をさせていただきたいという予算の計上になります。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） ご答弁ありがとうございます。家財の撤去は、どちらが費用を出されたのでしょうか。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 森田委員からの再々質問のほうにお答えいたします。

家財の撤去のほうはご親族の方がやられています。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。4番、相田委員。

○4番（相田恵美子君） 4番、相田です。

今の森田委員の質問のところなんですけれども、町は何を目的としてこの住居を購入したのかということと、居住されたまま購入して、居住されていたということは、町に家賃を払っていたということになるのでしょうか。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 4番、相田委員からのご質問にお答えいたします。

町がなぜ購入したかというところでございます。こちらにつきまして琴清苑の建て替えのときに奥多摩モータースさんのほうを購入したという経緯の中で、所有者の方から町のほうに家のほうも買ってほしいというようなことがありまして、町といたしましてはその当時は、定住対策用地として活用できるのではないかということで併せて購入をさせていただいたという状況でございます。家賃につきましても居住していたときはいただいているということでご理解をお願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑なしと認めます。

お諮りします。会議の途中であります。ここで暫時休憩にしたいと思っておりますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸 雄一君） ご異議なしと認めます。よって、午前 11 時 5 分から再開とします。

午前 10 時 50 分休憩

午前 11 時 05 分再開

○委員長（榎戸 雄一君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

次に、議案第 20 号の歳出の質疑を行います。歳出は款別に幾つかに区切って行います。はじめに、款の 1 議会費、款の 2 総務費について質疑を行います。質疑はありませんか。

5番、大澤委員。

○5番（大澤由香里君） 5番、大澤です。

64 ページ、目 06 財産管理費の節 12 委託料のところなんですが、旧レイクサイド奥多摩建物管理補助業務委託 60 万 5,000 円、その下の旧レイクサイド奥多摩電気工作物保安管理業務委託に 31 万 4,000 円と計上されていますが、これ多くの委員が過去何回も質問をされていますし、監査委員さんからも指摘されていると思うんですが、今後どういうふうに管理して活用する予定なのかというところをお聞きしたいです。

あと、その一番下のところ、旧りそなのところ、南氷川町有物件解体設計委託 200 万出ておりますけれども、このりそなの解体した後、どういうふうにするのかというところを教えてください。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 5番、大澤委員からのご質問にお答えいたします。

1 点目、2 点目とも 64 ページの財産管理費の委託料の内容でございます。

まず1点目の旧レイクサイドの建物の管理補助業務委託と電気工作物の保安管理業務委託という予算のほうで計上されているという中で、過去、複数の委員からこちらをどう活用していくのか、また、監査委員からも管理をどうしていくのかということで、管理と活用の方向性はどうかというご質問かと思えます。

まず管理のほうにつきましては、現在、障害者施設団体の方々に施設の管理をしていただいております。その中で監査委員のほうからも活用の見込みがないのであれば、管理のほうについても検討したほうが良いというようなご指摘もいただきましたので、今年度ご指摘の後に、障害者団体の方とお話をさせていただいて、こういった指摘があるので町としても管理についても考えていかなければいけないということで、令和7年度につきましてはこのまま同額で管理委託のほうは載せさせていただくということで、7年度中にまた再度、今後町の方向性も示しながら管理をどうしていくのかという打合せをやらせていただきたいなと思っています。そんな打合せの中でも監査委員さんからそういう指摘があって、あるのであれば管理していかないという町の方向性が出れば、そちらは団体の方もそういった方向で承知しますということもいただいておりますので、丁寧に協議しながら進めていきたいなと思っております。

活用の方向につきましては、確かに複数の委員さんから一般質問もいただいて、今後どうしていくのかというお話もいただいております。その答弁の中でも現状まだ具体的な活用は見いだせていないということでお話はさせていただいて、実際には現状もそのとおりなんですけれども、一般質問の中でも今後このままにしないで、早めに方向性を決めて

いきたいというようなどころもありますので、来年度、すぐにはこの問題解決できるとは考えてございませんけれども、まずは庁内のほうで1回、ほかの物件も含めて遊休資産のほうをどうしていくかという話合いの場を持ちたいなと担当課としては思っております。

次に、2点目の南氷川町有物件解体設計委託ということで今回、旧りそな銀行の解体の設計を載せさせていただいております。こちらについては、沿道耐震のほうがかかかってございまして、多摩建築指導事務所のほうからも度々、今後どういうふうにかこの施設をしていくのかということで通知もいただいております、国道沿いということで安全対策をしっかりしろということでもありますので、今年度は同じく棚沢の物件のほうを同じく沿道耐震にかかかっていましたので、解体をさせていただきましたので、こちらについても来年度設計をさせていただいて、再来年度のことはまだこの場では言えませんが、なるべく早い段階で解体のほうは、国道の安全性、また、その場所は歩道もあるので、安全性を含めて解体していきたいと考えてございます。

そんな中でその後の活用という質問でございますが、現状、特にその場所に何かまた施設を建てるとか、そういう考えは特に持っておりません。以前、木村圭議員からもご質問いただいた中では、むかし道の通りの途中にあるということもあるので、簡単なベンチだとか、あずまやとかで休憩できるような場所を設けてもいいんじゃないかというような当時木村圭議員からお話もございましたので、そんなことも含めて活用については考えていきたいなと思っておりますが、今はまだ具体的に決まっておりますので、ご理解をお願いいたします。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） 3番、森田です。

ページ数67ページ、款02総務費、項01総務管理費、目07企画費、事業（05）町制施行70周年記念事業費の中で、わさびグッズ等作成委託で400万上がっているんですが、このわさびグッズは何を作られるか、教えてください。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 3番、森田委員からのご質問にお答えいたします。

67ページの町制施行70周年記念事業の中の委託料、わさびキャラクターグッズ等作成業務委託、何を作るのかということで、現時点の予定ということでご理解いただければと思いますけれども、現時点で考えておりますのは、わさびのミニフィギュアだとか、あとはボールペン、クリアファイル、あとピンバッジですかね。一番最初に作ったわさび

一の形をしているピンバッチ、こちらを今回作成したいなと思ってございます。また、観光のほうもいろいろな 70 周年の記念事業のイベントを冠事業で計画していただいておりますので、このあたりは観光産業課のほうと相談しながら、何が今回キャラクターグッズとして適しているのかというのは、また相談しながら検討していきたいなと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 4 番、相田委員。

○4 番（相田恵美子君） 4 番、相田です。

森田委員の質問のところと同じ 67 ページの今のわさびキャラクターグッズの下のほうです。節 18 の負担金・補助及び交付金のところでございます。説明の 01 負担金・補助及び交付金 210 万円。町制施行 70 周年記念事業支援金（まちづくり推進事業）ということなんですけども、具体的な計画はありますでしょうかということと、先日、町長も教育長もご出席されておりましたけども、奥多摩中学校のイノベーション実践報告会、すばらしかったです。特に 2 年生の来場者 5,000 人を目指すイベントの企画というプレゼンがありまして、本当に中学生の力はすごいなと思いました。奥多摩中学校は今年 10 周年ということもありますので、町政施行 70 周年事業と奥多摩中学校 10 周年ということで絡めての事業はお考えにならないのか、伺いたいと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 4 番、相田委員からのご質問にお答えいたします。

ページ同じく 67 ページの節 18 負担金・補助及び交付金の中の町制施行 70 周年記念事業支援金（まちづくり推進事業）ということで 200 万円の計上をさせていただいております。具体的な計画がまずあるかというお話でございます。

こちらにつきましては、まちづくり推進委員会というのがございまして、その中でも委員の方にご意見をいただきながら計画のほうは既につくっております。4 月早々になりましたら募集のほうをかけたというふうに考えてございます。こちらにつきましては、今まで町のほうがいろいろ考えてイベントを実施していくということではなくて、今回、長計もそうなんですけれども、住民との協創という部分で、住民が町政に参加していくところを町長も非常に重要視されているというところもございまして、住民の皆様から 70 周年記念事業としてふさわしい、住民以外にも町と関わりのある方ということも含めて対象にしておりますけれども、そこから企画を上げていただいて、まちづくり委員会の中で、企画が幾つ上がってくるかまだ見えないところでございますけれども、その中

で審査をさせていただいて、今、町で考えているのは上限 100 万円で 2 事業ほどできればいいかなというふうに考えてございます。そういったところで今計画を策定してございまして、4 月早々には広くホームページ等々で公表していきたいなというふうに考えてございます。

次の中学生の 5,000 人を町に呼び込むイベントということで、先日、報告があったということでございます。こちらにつきましては、教育委員会のほうで教育長を中心に 70 周年を記念する事業ということで検討していただいております。こちらの事業に申し込むかどうかというのはちょっとあるんですけども、それは別枠で、もし本当にいろんな中学生が考えて 70 周年にふさわしいような事業ができるのであれば、そういう方向性があればまた補正予算等で対応させていただきたいと思っておりますけれども、教育委員会のほうの考え方もございますので、その辺につきましては協議をしながら進めてまいりたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 9 番、高橋委員。

○9 番（高橋 邦男君） 9 番、高橋です。

同じ 67 ページで質問 2 点お願いします。

1 点目は、今の町制施行 70 周年でいろんな記念行事等を予定しているようですが、委託料のところで、わさびキャラクターグッズの下です。臨時列車ツアー実施というのが 100 万計上されています。この企画は町が考えたものか、それとも JR から何かどうだというふうに言われたか、或いは町民の方から声が上がっているとかいろいろあると思うんで、その辺誰が決めたかということです。それを 1 つお願いしたいと思います。

それからもう一点は、ちょっと上のほうになります。総務費の一番上のほうの委託料のところ、町公式フリータブロイド誌作成委託 280 万。これ去年は 234 万 3,000 円で 45 万 7,000 円ほど増額と。これ理由を聞きたいなと思っております。ちょっと余計なことかもしれませんが、自分も見たことあるんですけど、確かに町の情報発信、町外の方中心だと思うんですけど、いろいろ取材等して、本当に町を宣伝するにはいい雑誌だと思うんですけど、ただ自分が見た限り、字は小さいし、バックの黒ですか、字が見にくいし、それから、町民の方には回覧板で回るだけで、多分ほとんど見ていないと思うんですよ。ですから、その辺のことを考えて、どうして増額したのかな。それをお願いしたいと思います。

以上 2 点です。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 9 番、高橋委員からのご質問にお答えいたします。

まず 1 点目でございます。町制施行 70 周年記念事業の委託料の中に、臨時列車ツアー実施委託ということで今回載せさせていただいてございます。こちら町のほうが考えたのか、町民の声なのか、誰が決めたのかというようなご質問かと思えます。こちらにつきましては、民間事業者との連携というところで J R との打合せ、もう年に何回もさせていただいてございます。そういった中で何か 70 周年の記念事業ができないかということで打合せをしている中で、以前、町長からお座敷列車を復活したいという、議会の中でもそういうご発言がございましたので、ちょっとそんなお話もさせていただいたところなんです。お座敷列車のほうについては車両が古くてなかなかできないということで、臨時列車の部分を含めて全ての車両を借り上げるというのは費用的にもかなりの負担になってしまうので、1 両ないし 2 両を貸切りにして、このツアーを組めるというようなお話も協議の中でさせていただいたので、そういったところで今回提案をさせていただいて 100 万円計上させていただいたというところでございます。

実施時期については恐らく秋になろうかと思うんですけれども、具体的な内容は、相手の J R さんがいるので、J R さんの公表がある前はなかなか詳しくはお話しできないので、そこはご理解いただければと思いますけれども、そういった経緯で計上させていただいたところでございます。

2 点目の同じく 67 ページです。企画事業費の中のフリータブroid誌作成委託、去年より金額が増えているというところでございます。こちらにつきましては、今年度の補正予算の中でも増額の補正予算を組ませていただいたんですけど、やはり印刷製本費というか、様々な部分が値上がりをしているということで、昨年度よりはどうしても経費がかかってしまうということで、今回増額にさせていただいております。

部数のほうを若干減らしたりとか、そんなところで経費のほうは下げていければなど思いますが、物価高騰の影響はこういうところにも出ておまして、増額で計上させていただいたという状況でございます。

ちょっと字が小さくて見づらいとか、背景の部分だとか、その辺りのご指摘もいただいておりますので、お願いしているデザイナーの方の考え等もございまして、ご意見があったということでお伝えできればと思いますので、よろしくお願いたします。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 6 番、澤本委員。

○6 番（澤本 幹男君） 6 番、澤本です。

今、フリータブロイド誌の件で 45 万 3,000 値上がり、いろんな印刷代値上がりということで、カラーということで作っている方のいろんな希望を聞いていて作っているかと思うんですけど、それに伴いまして、ページが 54 ページになりますけど、議会費の中の節 10 需用費、説明で、印刷製本費が 195 万 6,000 円ということで、去年が 179 万 6,000 円ということで、要は議会だよりが主に多く占めているんですけど、ここは 20 万しか上がっていないんですよ。我々議会だより委員が一生懸命やっていて、片やタブロイド誌で 45 万も上げていて、議会だより委員会は 20 万も上がってなくて、いろいろ議会事務局さんを通して交渉していただいたんですけど、20 万しか上がらなくて、年に 4 回出して、現実問題、カラーが出せなくていろいろ苦勞しているんですよ。それで、年間だから 10 ページの分と 12 ページとかいろいろ苦勞して、今後、議会だよりも町民に見ていただく努力を我々の議員側としてもしなきゃいけないんですけど、予算的に見ると、ほかの市町村はみんなカラーを使っていたり結構予算を組んでいただいているんですけど、いろいろ議会事務局さんからお願いしても、ある程度少しは認められたんですけど、片やタブロイド誌のほうが価値があるかどうか分かりませんが、40 万も上げて、議会だよりが 20 万しか上がらないのはちょっと私は納得いかないんですけど、ご説明をお願いしたいと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 6 番、澤本委員からのご質問にお答えいたします。

54 ページの需用費の中の印刷製本費、この中で議会だよりの印刷費が主になると思いますけれども、こちらが先程のフリータブロイド誌に比べて予算の増額幅が少ないんじゃないかというご質問かと思えます。こちらにつきましては、先程お話がございました議会だよりの改革中というところもお話をいただいてございまして、財政係と議会事務局とのヒアリングの中でご理解をいただいたという部分で 20 万円増額ということでつけさせていただいております。

今後、議会だよりの改革というところで、編集も今、検討されているというお話がございますので、その方針が出まして、必要な経費のほうは幾らになるかというのは、改革の内容が分かりませんので、この場ではお話しできませんけれども、見やすい議会だよりということで皆さんが検討いただいているところもございまして、そういった部分ではしっかりと検討はさせていただきたいと思えますので、今後その方向性をまたお話しさせていただいて、予算のほうに反映はさせていただくように検討させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 6番、澤本委員。

○6番（澤本 幹男君） ご答弁ありがとうございました。できればほかの市町村と同じように全カラーということを目指していきたいと思ひますし、我々としてもいいものを作って町民に取っていただくような議会だよりを作りたいと思ひますので、ぜひとも町側のご協力もよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 10番、原島委員。

○10番（原島 幸次君） 10番、原島です。

1点質問させていただきます。ページ数が73ページ、目13防犯対策費の中で、防犯対策費473万、そのうちの前年度1,000万で、今年度が527万9,000円とマイナスの473万円になっております。そのうちの防犯施設整備費53万5,000円、これは各自治会の防犯灯の関係だと思ひますが、それにしても防犯関係が非常に少ないんじゃないかと思ひます。というのは、どんな事件が起こるか分かりません。特に今、外国人の方が非常に多く町に川だ、山だと来ております。どんな人柄だったか見ろといつてもなかなか覚えられません。それには防犯カメラ、これがぜひ必要ではないかと思ひます。犯人逮捕に至る防犯カメラは、この間もテレビでやっていましたが、非常に有効だと聞いております。まして学校がこの近辺にあつたり、観光客も大勢来る、この近辺においては、かなりの防犯カメラ設置があつてもいいんじゃないかと思ひます。ぜひその辺もお考へいただきまして、防犯対策を改めてお願ひできればと、よろしくお願ひいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 総務課長。

○総務課長（山宮 忠仁君） 10番、原島委員さんからのご質問にお答へ申し上げます。

73ページから始まりまして、内容的には74ページのほうの防犯対策費並びに防犯施設整備費ということで、特に防犯施設整備費のほうが前年度比較で473万円減になっているということでございます。この部分については、各自治会の防犯灯のLED化が完了したということで、前年度比較で大きく減なんですけども、逆に申し上げますと、従来どおりの平年的な予算に戻つたというご理解をまず1点お願ひしたいと思ひます。

それから、外国人がこれから春を迎えて、特に町のほうにも来訪が多くなるのではないかということで、防犯カメラの必要性というお話をいただいているところでございます。こちらにつきましては、過去に先日的一般質問の際にも、8番、宮本亨委員からの一般質問の中でも町長からご答へ申し上げたところでございますけれども、各主要の国道であつ

たり、都道であったりということで、枝線に入る入り口の交差点付近に町独自で5か所の防犯カメラを設置して、これが現在も稼働しているというお話をさせていただきました。そういった中で、それで十分だというふうには思っておりませんが、今、委員からもそういったご提案といたしますか、懸念される事項というのもお話しいただいておりますので、予算でいきなり計上するというのもなかなか難しい中で、奥多摩交番であったり、その上の青梅警察であったり、また、防犯協会というところもあつたり、絡めて自治会というところもありますので、そういった中で今後連携しながら、いわゆる何かあつてからでは困るというお話だと思いますので、どういった予防線が張れるかどうかというところもそういった中で連携を取らせていただきながら今後検討してまいりたいと思いますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。4番、相田委員。

○4番（相田恵美子君） 4番、相田です。

今の原島委員のところと同じところで防犯カメラについてちょっとご質問させていただきたいんですけど、先日の一般質問で宮野委員からありました東京都の予算で、防犯機器等購入緊急補助事業をはじめるところで、個人のお宅での防犯カメラ、カメラつきインターホン等が令和7年度に限り1世帯当たり上限2万円、令和8年度は上限1万円というお話をいただいております。先日、課長のほうにもお話ししましたが、まだ要綱が東京都から届いていないということでございましたが、今後検討されるのかということをお伺ひしたいと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 総務課長。

○総務課長（山宮 忠仁君） 4番、相田委員さんからのご質問にお答えいたします。

予算化のお話ではございませんけれども、74ページの防犯施設整備費関連ということではよろしいかと思います。この部分について今、相田委員さんからもご説明のあつたとおりでございまして、東京都のほうで報道が先行している状況です。町のほうには2月頃に案というようなことは来ているんですけども、その後、正式なものはまだ来っていないという部分がございます。

令和6年度に東京都のほうで予算要求化しているんですけども、実際に4月以降、施行するのに新設される都民安全総合対策部というところが所管になるというようなこと、これも都の予算の報道の中で知っている限りの部分ですけども、町のほうでも具体的にいわゆるどういう関わりをしていくのかというところがよく見えておりません。本当に報道の中で、例えば自治体を通じてということも書いてあつて、そこで場合によると、事務手

数料が入るといようなこともありますけども、それさえも直接東京都から町のほうには正式なアプローチがないという状況ですので、その辺、当然防犯に資する予算でございますので、住民のニーズもございませうし、また、町としても西多摩の管内の自治体とも情報連携を取りながら対応を図ってまいりたいと思いますので、ご理解のほうよろしくお願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） 3番、森田です。

ページ数が68ページ、69ページなんですけど、款02総務費、項01総務管理費、目08電子計算費の(01)(02)についてお伺いします。財源がその他で50ページの雑入の目08地方公共団体情報システム機構補助金で、(01)については988万7,000円と(02)については1億1,567万3,000円が財源としてついているんですけど、その他が一般財源ということで、これはほかにも補助金があって、仮に一般財源に載せているのか、それとも49%は、町の一般財源から出さないといけないのか、その辺についてお伺いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 総務課長。

○総務課長（山宮 忠仁君） 3番、森田委員さんからのご質問でございます。

68ページから69ページというところで、目の中では08の電子計算費、この事業番号の(01)の電子計算管理費と(02)電子計算開発費ということで、前年度比較でも大きく金額が増えているという状況の中で、歳入のほうも委員がおっしゃられたとおり、諸収入で見えておりますけれども、デジタル基盤の改革支援補助金ということで、これJ-LIS（地方公共団体情報システム機構）のほうから入ってくるものですけども、これを見えます。それを差し引いてもこの予算書上でも1億以上の一般財源が発生しているというところで、ここの手当てはどうかというご質問かと思えます。

こちらの部分については、従前からお話をさせていただいていますシステムの標準化・共通化委託ということで、国全体のお話でございます。各自治体がそれぞれ電算化はもう何十年前からはじめているわけですけども、そのいわゆるシステム会社がばらばらであったり、その仕様がばらばらであったりというところで、国が今後統一的に何かしようとしたときにそこが障壁になるということで、これを令和7年度末までに標準化しなさいというのが概要でございます。

1つには国が提供するシステムそのものを使うというのものもあるんですけども、町のほうでは検討した結果、そちらに乗り換えると更にもっとお金がかかるということですので、現状使っている業者のほうを標準システムのほうに準拠するような形で改修を図るとい

のにこれだけお金がかかってしまうというお話でございます。

現状は、この予算書の財源内訳にありますように、一般財源の部分が1億円以上あるという状況で、それに代わる補助金というのはありません。ただ、この辺はまた企画財政課とも協議になりますけれども、市町村の総合交付金の中でその部分を訴えていただいて、財源補完ということで何とかできないかなというふうには考えているところでございます。

J-LISと言いつつも出どころが国ですので、全国化の中で、法上基準額的なものとか、幾らでも出してくれるという状況ではないもので、ただ、そういった中でも非常に大きいお金ですので、その辺は東京都のほうへの相談も含めて検討させていただきます。よろしくお願いたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。2番、伊藤委員。

○2番（伊藤 英人君） 2番、伊藤です。

67ページのあたりで3点ほどお聞きします。

67ページ、一番下のほう、事業（05）の町制施行70周年記念事業費のところ、先程来質問がありますけれども、これもまちづくり推進事業として100万円掛ける2事業で今は想定しているということでした。70ページも地域振興対策事業費として、まちづくり推進事業はあると思うんですけれども、70ページは目09地域振興費として、事業（02）地域振興対策事業費、説明欄の下のまちづくり推進事業支援金として100万円あります。ですので、今年はまちづくり推進事業としては3事業採択できそうだという認識でよろしいでしょうか。

また、67ページに戻りまして、次が事業（03）の庁舎建設整備事業費のところ、委託料として、新庁舎建設工事の発注支援業務委託と工事監理業務委託、この業務内容を少しお聞きしたいのと、メリットはかなり大きいのではないかと思うんで、そのメリットの部分を含めて業務内容をお聞きしたいと思います。

3つ目として、立木伐採搬出等作業委託について、川苔山の町有地が伐採箇所なのかなというのを今年度などお聞きしていたかと思うのですが、実際のところどのような場所で、どのように搬出されていくのか。その場所、町有地でどれぐらいの堆積の木材が生産できるのかというところをお聞きしたいと思います。何といたしますか、立木の伐採について全員協議会とかの資料を見ていくと、やはり多摩産材を使ったり、奥多摩産材を使う、奥多摩町産のものを使うというのは公費の上昇の要因になると書かれていたので、本当にそうなのだろうか。メリットとしては、費用面でいうとデメリットのほうが大きいことなのかどうかというところも含めてお聞きしたいと思います。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 2番、伊藤委員からのご質問にお答えいたします。3点ご質問いただいております。

まず1点目の67ページの町制施行70周年記念事業の負担金・補助及び交付金の中に70周年記念事業支援金（まちづくり推進事業）という計上がございます。と同時に70ページの事業（02）の地域振興対策事業費、こちらが従前から行っているまちづくり推進事業の支援金ということで計上させていただいております。令和7年度についてはこれを含めて3事業の採択かというようなご質問かと思えます。先程の70周年記念事業支援金ということで予算200万円で、想定で上限が100万というふうに設定しておりますので、2事業というふうな想定はしておりますけれども、申請が上がってきて、予算の範囲内で逆に3事業できるかもしれないですし、その辺りは予算の範囲内で70周年にふさわしい事業の提案がございましたら考えていきたいなと思っております。

70ページのまちづくり推進事業支援金は100万円、前年同額で取らせていただいております。こちらの別枠で、従前からのまちづくり推進事業ということで募集を行いまして、事業数は何件応募があるか分からないということで、令和6年度は1件ございましたけれども、そんな中で令和7年度からは、申請した方がプレゼンテーションをやらなきゃいけないかったりとか、ハードルがちょっと高くて件数が減ってきてしまったのかなというような委員さんの意見もございまして、今までは現行限度額100万円で、3年間継続でできますよということで、1年目が80%の補助、2年目が60%の補助、3年目が40%の補助ということで、大体補助率を減らすような形でやってきたんですけども、今回7年度からハードルを少し下げようということで、限度額を20万までに下げて、100%の支援をしていきたいということと、あと先程ハードルの部分ございましたけれども、基本的には書面審査のほうで、プレゼンテーションは行わない形で手が挙げやすい形に一回ちょっと変えてみようということで、試行的にやっという検討を進めてございますので、そんな中で100万円の中で何事業が応募があつて採択されるか、当然、採択されない事業も今までもございますので、何件かというのは応募状況と審査状況を見ながら判断していきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

次に、2点目の67ページ、事業（03）庁舎建設整備事業費の委託料の中の工事の発注支援業務委託と工事監理業務委託ということで2つ計上させていただいております。発注支援業務委託につきましては、かなり大型な工事費になりますので、こちらにつきまし

では9月末ぐらいまでを委託期間と考えてございますけれども、発注支援業務の中では、まず来年度早々に建築確認等申請ということで、そちらのほうも進めていただくのが1点です。もう一点は、工事の発注、入札をこれからかけていくわけでございますけれども、当然、町のほうも実施設計が上がってきた後に内容精査しながら相談をしていかなければいけないというところで、設計業者との相談を含めたり、入札を行う際に当然、手を挙げてきた事業者から内容についての質問が出てくるところがございます。そういったところの質問の回答の支援をしていただいたり、また、発注者が決まった後に発注者、設計者、町というところで今後どういうふうに進めていくのかだとか、そんなところも含めて全体的に設計内容の精査から入札、そして、業者が決まった後の調整等、こちらも含めて委託の中に考えてございます。

また、もう一点、発注支援の中には木材調達支援ということで、搬出をした木材を製材したりしていかなければいけないというところもございます。この部分は町のほうではなかなか専門的な知識もないものですから、そういったところのどういうふうに進出した木材を加工、活用していくかというようなところも専門的な知見からご支援をいただきたいということで、この発注支援業務委託のほうを考えてございます。

監理業務委託のほうにつきましては、通常の工事でも大きな工事では監理業務委託をかけてございます。こちらにつきましても様々な許認可申請等もございまして、関係機関と調整、また、工事を進めていく上で定期的な定例会等の中にも入っていただいて技術的な、専門的な助言をいただいたりとか、そういった管理業務委託をかけていく予定でございます。なかなか大きな事業で、町も技術的な職員が少ない中で、管理業務委託、また、発注支援業務委託をかけることによって、各作業がスムーズに、そして、専門的な部分でご支援いただけるということで、職員側としてもこの2つの業務は必須と考えてございますので、ご理解をいただければと思います。

3点目の立木伐採搬出等業務委託、場所は川苔町有地かどうかというところがございました。こちらにつきましては補正予算のほうでご説明させていただいて、どうしても建設スケジュールが後ろ倒しになってしまったということで、新たに令和7年度のほうに組替えをさせていただいて計上させていただいてございます。

場所は、予定どおり川苔の町有地で細倉橋のそばに町有地がありますので、そちらから、できれば100本程度は搬出していきたいなというふうに考えてございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。5番、大澤委員。

○5番（大澤由香里君） 5番、大澤です。

先程の森田委員の質問にあった68ページ、69ページの電子計算費関係なんですけども、システムの標準化・共通化ということで、昨年度から計上されていますけれども、昨年のお話ですと、20項目ぐらいあって、住民基本台帳とか、印鑑登録とか、項目で完了した分から稼働していくというような話だったんですけども、今現在どれくらいの進捗状況かというのが分かりましたらお願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 総務課長。

○総務課長（山宮 忠仁君） 5番、大澤委員さんからの質問にお答え申し上げます。

68ページから69ページにということで、先程と同様の目が08の電子計算費の中の電子計算管理費及び電子計算開発費に付随するご質問ということでございます。昨年の答弁の中でも20業務というようなお話があって、それを順次進めているという話があったかということでございます。こちらについては今、7年度予算にこれだけの大きい金額を載せさせていただいているんですけども、こちらにつきましては奥多摩町の運用開始日の順調に行つての予定なんですけども、7年の8月に運用開始ができる方向で今進めている。この件につきましては西多摩郡の瑞穂、日の出、檜原含めた4町村で共同で運営をしていますので、そういったところで足並みをそろえて、ちょっと瑞穂だけが9月に入るんですけども、残りの奥多摩含めた3町村は8月中に公開作業を終えて運用開始をするというようなスケジュールで進めているところでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。4番、相田委員。

○4番（相田恵美子君） 4番、相田です。

ページが66ページ、款02総務費、項01総務管理費、目07企画費の節07報償費、説明のところの報償費、2番目の第6期長期総合計画評価委員報酬18万のところでございます。この委員さんは何人ぐらいを想定して、大体委員さんは今の段階で決まっているのかということと、評価委員は毎年開かれるのか、どれぐらいの頻度で開かれるのかということをお伺いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 4番、相田委員からのご質問にお答えいたします。

ページが66ページ、企画事業費の中の07報償費、第6長期総合計画評価委員報酬ということで、何人の想定かと具体的にどなたが決まっているのかというようなご質問がまずありました。こちらにつきましては、まだ具体的に何人という形には決めてございません

が、多摩大学の松本先生とも相談をさせていただいて、ある程度評価委員の委員というところもあるので、専門的な方を選任したほうがいいのではないかなというようなご助言もいただいておりますので、今年度評価のほうをつくっていくところもでございますので、予算計上したんですけれども、今年度すぐに評価ができるかというとなかなか難しいかなというところもございます。このあたり評価の設定が正しいのかどうかというところは委員会の中で諮るのかどうか、ここも含めて松本先生と相談していければなと思っております。という中で、誰に決まっているかというのは、まだ現状決まっております。

あと、毎年こちら開いていくのかということで、今の考えでは毎年この評価委員会というのは設定していきたいなというふうに考えてございますので、ご理解をお願いいたします。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。

○6番（澤本 幹男君） ページ 64 ページで先程ご質問ありましてご回答いただきました南氷川の解体物件、りそなの 200 万という予定ですけど、これ金融機関の建物ということで、非常に頑丈にできていて、例えば金庫室なんか相当重厚でして、200 万で果たして解体費用が足りないんじゃないかと思うんですけど、ちょっとお聞きしたいと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 企画財政課長。

○企画財政課長（杉山 直也君） 6 番、澤本委員からのご質問にお答えいたします。

ページでいきますと、64 ページの南氷川町有物件解体設計委託ということで、旧りそな銀行の建物になります。委員からお話がありましたとおり、金融機関でありましたので、大きな金庫が設置されてございます。通常、解体工事に当たりましては業者から見積りを取って工事という進め方のほうが一般的なんですけれども、今回大きな金庫があったりとか、どうしても国道に面しているということで安全性もしっかり考えなければいけないということで、設計業者から見積りは取らせていただいて予算を計上させていただいております。

設計のほうになりますので 200 万円という計上させていただいておりますが、当然工事になると、大きなお金が発生してくるかなという想定はしておりますので、こちらにつきましては設計業者が決まり次第、先程の跡地の活用の話もございましたので、そういったところも含めて相談しながら委託のほうを進めていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑なしと認めます。

以上で、款の1 議会費、款の2 総務費の質疑を終結します。

お諮りします。会議の途中でありますが、ここで休憩にしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸 雄一君） ご異議なしと認めます。よって、午後1時ちょうどから再開といたします。

午前11時59分休憩

午後1時00分再開

○委員長（榎戸 雄一君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

次に、款の3 民生費、款の4 衛生費について質疑を行います。質疑はありませんか。3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） 3番、森田です。

3点ほどお伺いします。

まず1点目、ページ数が92ページ、款03 民生費、項01 社会福祉費、目01 社会福祉総務費の事業（15）地域ささえあいボランティア事業費、委託料が前年度から60万ほど減っているんですが、その理由を教えてください。

ページ数が96ページです。目02 老人福祉費、事業（04）高齢者緊急通報システム事業費、節17 備品購入費、こちらの緊急通報システム機器なんですが、町に何台あって、何台稼働しているのか教えてください。

そして、ページ数が122ページです。款04 衛生費、項01 保健衛生費、古里診療所の説明で備品購入費、低周波治療器なんですが、古里診療所のリハビリは今、通院が何名ぐらいいらっしゃるのか、教えてください。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 3番、森田委員のご質問にお答えいたします。

まず1点目のページが92ページ、地域ささえあいボランティア事業費、12の委託料の60万円の減でございます。こちらは昨年度、ボランティアの担い手不足を補うために、事業所などに委託を想定して予算計上ということでさせていただきました。今年度は具体

的に詰めている中で、委託をすれば済むというだけで済まなくて、再度また仕切り直しでやるというような形で、令和7年度については皆減にさせていただいているものでございます。

それと2点目の96ページ、事業(04)高齢者緊急通報システムの事業費でございますけれども、何台あって、稼働はというお尋ねでございますけれども、現在、令和7年の2月時点の状況では、台数としては58台ございます。稼働というと、予備としては5台ありますので、それを地域に設置する場合に予備で持っているということですので、ほぼ100%のような形で動いているとご理解いただければと思います。

それと3点目でございます。122ページの事業(03)の古里診療所事業費の中の低周波の治療器という部分の中で、古里診療所のリハビリの通院数でございますけれども、今年度の状況というのはまだこれから報告という形になりますけれども、昨年8月の時点で報告があったものでは、リハビリの平均患者数ということで、令和6年の8月でリハビリが14.0人ということで、年間見ますとそれぞれ15人から16人とか、大体その近辺の平均的なリハビリの人数となっております。

以上でございます。

○委員長(榎戸 雄一君) 質疑はありませんか。4番、相田委員。

○4番(相田恵美子君) 4番、相田です。

2点ご質問させていただきます。

1点目が102ページ、款03民生費、項01社会福祉費、事業(25)認知症地域支援推進事業費の節の12委託料、説明の01委託料350万7,000円。認知症支援拠点運営委託という新たな事業だということですが、団体に委託するというお話でございましたけれども、どのような団体に委託するのかということと、「来るつく～」と同様な事業というご説明だったと思うんですけど、場所はそのまになるのか。あと内容の変更はあるのかということをお伺いいたします。

2点目です。2点目が、ページは104ページ、款03民生費、項01社会福祉費、事業(07)重度障害者(児)タクシー乗車料金等助成事業費です。節の19扶助費、説明のタクシー乗車料金等扶助ということですが、206万円。この事業は、以前私、一般質問でもさせていただきましたけど、障害手帳をお持ちの方全員に支給されるのかどうかということをお伺いいたします。

以上2点です。

○委員長(榎戸 雄一君) 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 4番、相田委員のご質問にお答えいたします。

まず1点目の102ページ、事業（25）認知症地域支援推進事業費の委託料のところ
350万7,000円の増ということで、まずこちらにつきましては昨年オープンいたしました
「来るっく〜」の部分の委託費ということで、今回委託料を計上させていただいた理由と
いうのが今まで地域包括支援センターの職員が認知症推進事業ということで、ボランティ
ア10名程度になりますけれども、運営をしております。その中で食材費であったり、
様々なものを自腹でやっていたらいいかということで、その運営費という形で委託をするとい
うことで、この団体につきましては、名称としては、一般社団法人のオレンジネットワーク奥
多摩ということで、現在の活動しているボランティアの中で4の方が社員という形で、
残り10名程度で有償ボランティア的な形で運営をしていただくということで、現在考え
ている場所については、今の場所を使用していくということでございます。また、内容は
何か変更するかという点は、従来どおりの内容についての変更はございません。1点目
については以上となりまして、2点目の104ページの事業（07）の重度障害者（児）タクシ
ー乗車料金等助成事業費ということでございます。昨年、相田委員さんからは、令和6年
第3回の定例会の中で一般質問という形でいただきました。今回、新年度の中で重度障害
者のタクシー時の障害の等級という部分については前年と変更はない形で予算では計上し
ているという状況でございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 4番、相田委員。

○4番（相田恵美子君） ありがとうございます。認知症の事業については包括支援セン
ターが運営ということでは変わらないということでしょうか。そこに一般財団のオレンジ
ネットワーク奥多摩が参入するという、両方されるのかということのを再質問で聞かせてい
ただき、もう一点の重度障害者のタクシー券についてなんですけど、内容としてはタクシ
ー券とガソリン券、S u i c a や P A S M O は使えないのかというお話をさせていただ
いたところなんですけど、その辺はどうなったのかということで再質問させていただきます。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 4番、相田委員の再質問にお答えいたします。

まず1点目の「来るっく〜」のほうでございますけれども、今後、基本的にはまず法人
に立ち上げていただいて、主としてはそちらの法人でやっていただくと。包括支援セン
ターについては、引き続き協力を当然していきますので、これからも認知症推進事業の中で

の一つでは変わりはないということでございます。

それと2点目のタクシーのほうの、申し訳ございません、PASMOやSuicaが利用できないかということで、現在そこについてはまだそこは使えないということでご理解いただければと思います。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。5番、大澤委員。

○5番（大澤由香里君） 5番、大澤です。

89 ページ、社会福祉総務費の一番下のところ、役務費のところ、郵券代として特別弔慰金、新しくというお話だったと思うんですけども、なぜ今ここで新しくなったのか、その背景を教えてください。

あともう一点、94 ページ、目（20）のところ、介護・障害福祉サービス事業所物価高騰等対応支援給付金事業費のところ、種別に応じて25万、85万、250万を支給というお話だったと思うんですけども、具体的にどの施設にどれくらいというのが分かりましたらお願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 5番、大澤委員さんのご質問にお答えいたします。

まず1点目の89 ページの社会福祉総務費の郵券代のところでございます。今回、郵券代を新たに計上したというのは、戦没者の遺族に対する今回第12回の特別弔慰金ということで、前回というのは令和2年ですか、大体そのときに49名ほど対象者がいらっしゃいまして、今回第12回ということで、5年間の申請期限の中で申請をしていただくという形で、対象者も概ね予算規模としても50名程度、その郵券代ということで見させていただいたという内容となります。

それと次の2点目の94 ページの事業（20）介護・障害福祉サービス事業所物価高騰等対応給付事業費のところでございます。具体的にどの施設かということで申し上げますと、まず介護老人福祉施設ということで4特養につきましてはそれぞれ1事業所250万円、次に軽費老人ホームということで、これは幸房の家にはなりますけれども、こちらが85万円、それと多摩学園が同じく85万円、それと認知症の対応ということでハッピーメイク白寿が25万円ということで、1,195万円計上してございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。2番、伊藤委員。

○2番（伊藤 英人君） 2番、伊藤です。

111 ページをお願いします。111 ページが事業名でいうと（10）少子化対策事業費になります。節 18 負担金・補助及び交付金で、説明欄としては一番下のほうにあるのですが、乳児用おむつ購入費助成金について、一般質問の中でもご説明があったんですけども、その部分をもう少し詳しく伺いたいと思ひまして質問いたします。例えば対象者などどのようなものなのかという、そういった要綱的な部分が分かればお願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 2 番、伊藤委員のご質問にお答えいたします。

ページが 111 ページの少子化対策事業費、節 18 負担金・補助及び交付金の乳幼児おむつ購入助成金の部分の内容ということでございます。今回、乳幼児おむつの購入助成ということで、先般の一般質問の中でお答えさせていただいて、まずおむつギフトカードを出生した保護者の方に 6 万円のギフトカードを支給するという内容で、おむつのギフトカードで注文が布おむつだとか、おむつライナーというんですか、そうしたものがそのギフトカードで注文ができませんので、そうした方がいた場合には、この少子化対策事業費の乳幼児おむつ購入助成金という形で償還払ということで買ったものの領収書を持ってきていただいて、それを申請に基づき支給するというので、実際布おむつ、今聞いている話だとほとんどいらっしゃらないということなんですけど、ただ、もしいらっしゃる方を救うためにここで組ませていただいているということでご理解いただければと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 2 番、伊藤委員。

○2 番（伊藤 英人君） ありがとうございます。そういうことですね。つまり、この乳児用おむつ購入費助成金 36 万円は、額面でいうと 6 万円を 6 名分ということになるんですけども、これはおむつギフトカードの対象にならないというか、おむつギフトカードをパソコンなどを使ってやる対象の用品ではない方向けの 36 万円の予算ということになるということですね。分かりました。

それ以外におむつギフトカードを 6 万円分のものを発行していく、その事業としてはどの事業になるのか。確認していいですか。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 2 番、伊藤委員の再質問にお答えいたします。

このおむつギフトカードにつきましては、新たな要綱を整備して、その支給に関わる内容を定めているものになります。先程の布おむつの件もそうですけれども、出生時に対するその要綱を制定して、それに基づき予算化させていただいたということでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 2番、伊藤委員。

○2番（伊藤 英人君） ありがとうございます。その要綱の内容のほうの確認なんですけども、ちなみに対象者というのがどうなるのか。というのが、出生した保護者の方向けということとなると、新生児0歳の方が対象になるのかなと思うのですが、いかがでしょうか。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 2番、伊藤委員さんの再質問にお答えいたします。

対象ということでは今おっしゃられるようにゼロから、今回は特例という形で1年間は1歳になるまでの方、既に、例えばこの3月にお生まれになった方が対象にするために、1年間だけは1歳になるまでという形で、特例で経過措置という形で設けさせていただいております。今後は当然、出生時に0歳という生まれた時点でギフトカードを配布していくということでご理解いただけますでしょうか。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑はありませんか。3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） 3番、森田です。

ページ数 133 ページ、款 04 衛生費、項 01 保健衛生費、目 04 環境衛生費、(01) 環境衛生総務費、節 18 負担金・補助及び交付金で、飼い主のいない猫対策事業補助金という項目が出ていますが、こちらの財源は何かということと、こちらはねこねっとさんのことでしょうか。そして、今、ねこねっとさんで猫の家を開催していただいていると思うんですけども、大体何人ぐらいの方が行っているかどうか教えてください。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境担当主幹。

○環境担当主幹（原島 保君） 3番、森田委員のご質問にお答えいたします。

こちらは 132 ページの節 18 負担金・補助及び交付金で 133 ページの説明欄の飼い主のいない猫対策事業補助金ということですが、この財源は何かというところでございます。こちらの財源につきましては、ページ数で言いますと 36 ページの中段の環境衛生総務費の飼い主のいない猫対策事業費の補助率2分の1、こちら 15 万というところが財源となっております、その前のページ 35 ページ、こちらの名称が医療保健政策包括補助事業補助金というところでございます。

それと、こちらの飼い主のいない猫の補助金のねこねっとのボランティア団体に対して補助金を交付するものでございますけれども、こちら今現在、5名の方がやられているというところを承知しているところでございます。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） ありがとうございます。ねこねっとさんへよく防災無線で猫の家の開放のことを言っているんですが、猫の家には何名ぐらいの方が見学に行かれていますか、ご存じだったら教えてください。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境担当主幹。

○環境担当主幹（原島 保君） こちらの猫の家は何名ぐらい現在、見学に行かれていますかというところでございます。今現在、里親探しということで譲渡会をやられているということでお伺いしております。今年度から積極的にやられているということですが、実際何名ぐらいの方が行かれていますというところは承知してございません。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。2番、伊藤委員。

○2番（伊藤 英人君） 2番、伊藤です。

113 ページになります。目 02 児童措置費、事業（01）保育所措置費としてある部分について伺いたいと思うんですけども、節 18 負担金・補助及び交付金のところ、古里保育園さんが大規模改修を行うということなので、その部分を確認したくて、何か影響などありますでしょうか。つまり、年間スケジュールが移動してしまうというのは、自分も伺ったことがあるんですけども、例えば園舎の改修ということですので、閉園してしまうような影響があるとかそういったことがあるのかどうかということをお伺いしたいと思います。それが説明欄でいうと保育所等整備交付金のところに当たると思うんですけども、そのちょっと上、保育所運営費補助金についても伺いたいのですが、先程おむつのお話がありましたけど、保育園内でおむつを処理するための衛生費の加算があったということだと思うんですけども、これが氷川保育園、古里保育園それぞれ幾ら分かるものなのか、額面など分かるようでしたら教えてください。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 2番、伊藤委員のご質問にお答えいたします。

ページが113ページ、保育所措置費の中で、今回、古里保育園の園舎改修に伴って、何か内容とか、行事だとか、例えばそういうものがどう変わっていくのかというようなご質問の趣旨だと思います。今うちのほうでも聞いているのは、なるべく影響のない範囲でと

ということで考えているところではありますが、どうしても工事の関係で、事業とか時期というのか、その辺については今後、打合せしていく中でまた把握していきますので、保育園さんのほうでも、なるべく影響のないようにということでは考えているということでございます。ただ、その工事の内容によって事業だとかそういうものが一部変更というのは当然出てくる可能性はあるということで、今は未定だということでご理解いただければと思います。

それと2点目が保育所の措置費の中で、委託料の中でおむつの部分の衛生費加算ということで、金額的には衛生費加算ということで、1人当たり2,200円という形で、それぞれ氷川・古里保育園、園児数に応じた形、0歳から3歳児までの見込みの数で見込んでおりますけれども、氷川保育園につきましては58万1,000円、古里保育園については92万4,000円ということで補助金としては計上しているということになります。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。6番、澤本委員。

○6番（澤本 幹男君） 6番、澤本です。

今の保育所の交付金の関係で、古里ということで、氷川のほうは何か予定はないんでしょうか。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 6番、澤本委員のご質問にお答えいたします。

古里保育園の改修という中で、氷川保育園はというご質問でございます。現在、実は氷川保育園さんからも今年度既に来年度以降改修を行いたいということで、今内々の話ということで協議をしているところでございますので、また次年度以降、改修するということになれば、委員皆様にもまたお知らせしながらやっていきたいと思っておりますので、ご理解をお願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。4番、相田委員。

○4番（相田恵美子君） 4番、相田です。

ページ103ページです。款03民生費、項01社会福祉費、目03心身障害者福祉費、説明のところの05町単独精神障害者支援事業費144万のところでございます。先程と同様、私、一般質問もさせていただきましたけれども、これは精神障害の方全員に支給されるのが望ましいということで、ご質問させていただきました。町単独ですので、人数も少ないので、1級、2級の方だけではなく、3級の方にも支給されることが可能になるとよいのではないかとご質問させていただきました。この事業、全員に支給されるのか

どうか伺います。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 4番、相田委員のご質問にお答えいたします。

ページは103ページの部分でございます。ご質問としては全員の等級の方というんでしょうか、支給できないかということで、こちらの精神障害者福祉手帳の現在は、1、2級の方に手当を支給させていただいております。ここの部分については町の単独の事業ということで、ほかの8市町村を見ても、この単独をやっているのは当町だけではありません。今、委員さんからはできれば全員をとということでもあります。一般質問も昨年いただきまして、職員の中でも検討しながら、全員というか、まず3級とか例えばできないかという中で、特に就労支援が必要な1、2級をもともと当初、そこを対象としているというところで、3級の方でいうと20名程度いるところでございますけれども、全ての人が就労の部分で働けないという方が今どのぐらいいるかというのも現状なかなか把握できていないところもありますけれども、担当としても障害の3級の程度がどういう生活状況というか、そういう部分も把握しながら、今後どういった形が望ましいのか検討したほうがいいんじゃないかというようなこともありまして、令和7年度の当初予算では現状のままの1、2級ということで、引き続きそうした部分を含め現状も把握しながら、どのような形がいいのか検討させていただくということで、ただ、1つには財源も絡む問題でもありますので、ご理解いただければと思います。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。5番、大澤委員。

○5番（大澤由香里君） 5番、大澤です。

今の質問に関連して、106ページ目（13）障害者就労サポート事業費のところ、12の委託料で、障害者就労サポート相談会運営業務委託が新しくというご説明だったと思うんですけども、どこに委託して、月1回やるというような話だったと思うんですけど、どんな形で運営をしていくのか。教えてください。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 5番、大澤委員さんのご質問にお答えいたします。

ページが106ページ、障害者就労サポート事業費委託料ということで、新規で34万円を計上させていただきました。こちらは就労の支援体制の強化を図るという観点から、令和7年度について障害者の就労サポート相談会を月1回程度、委託により開催させていただくということでもありますけれども、現在考えているのは、障害者就業・生活支援センタ

一などで働いていた方をお願いすることを想定してございます。

また、予算をご決定いただいた後に、正式にそうした方に依頼をして、まず月1回はじめさせていただいて、今後どれだけ活用されるかによって、回数はそれだけ多ければまた考えていきたいということでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。8番、宮野委員。

○8番（宮野 亨君） 8番、宮野です。

ページ133 ページ、事業（03）生活排水対策事業費、説明のところ節14 工事請負費、説明、小丹波西雑排水路浄化施設撤去工事、この場所とどのくらいの期間、撤去工事にかかるのか。場所をとにかく教えていただければと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境担当主幹。

○環境担当主幹（原島 保君） 8番、宮野委員のご質問にお答えいたします。

ページで133 ページ、事業（03）生活排水対策事業費、説明欄、工事請負費で小丹波西雑排水路浄化施設撤去工事ということでございます。こちらの場所でございますけれども、住所でいうと小丹波124-1番地、場所では給食センターから、こちらから行きますと、古里方面に向かいまして大体100mぐらい行ったところの国道から多摩川沿いの法面ですか、そちらのほうに建設されている浄化施設となります。

規模的には150.52㎡というところで、こちらについては警視庁の土地でございます、警視庁から1年ぐらい前から撤去要請があったところでございます。

工事期間につきましてはなるべく早くやりたいというところで、早々に入札等を行いまして今年中に撤去ができればと考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 4番、相田委員。

○4番（相田恵美子君） 宮野委員と同様の133 ページです、今のご質問のすぐ上の01委託料、公共水域水質分析委託、梅沢だというふうにお聞きしました。梅沢のどの辺なのかということ、水質分析の委託というのは、どちらに委託されるのか、伺います。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境担当主幹。

○環境担当主幹（原島 保君） 4番、相田委員のご質問にお答えいたします。

ページで133 ページ、中段の委託料の公共水域水質分析委託でございます。こちらにつきましては場所については梅沢橋のちょうど下となります。そちらのほうで川の水を採取して水質検査を行っているというものでございます。

こちらの委託先でございますけれども、多摩川水系の水質監視連絡協議会というものがございまして、そちらについて多摩川流域関係 19 の区と市で、奥多摩町におきましてもそちらに参加しているところでございますけれども、年 2 回、多摩川の梅沢橋の下のところで流水サンプルを採取して水質検査を行っているというものでございます。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。2 番、伊藤委員。

○2 番（伊藤 英人君） 度々大変申し訳ないんですけども、また 113 ページをお願いしたいんですけども、保育所措置費です。節 18 負担金・補助及び交付金のところで、すみませんが、再度確認をしたいです、先程、保育所運営費補助金について伺いました。2,200 円を 0 歳から 3 歳までの園児の分で計上していくというのが衛生費加算というお話だったということよろしいですかね。この説明欄の一番下が保育環境改善等事業費補助金というのがありまして、こちらとの関係は何かありませんでしたか。このおむつの処理に関するお話でこの部分を確認させていただきたいと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 福祉保健課長。

○福祉保健課長（須崎 洋司君） 2 番、伊藤委員のご質問にお答えいたします。

113 ページの保育所措置費の節 18 負担金・補助及び交付金の一番下段にあります保育環境改善等事業補助金ということで、先程申し上げればよかったんですが、おむつの保育園に対する補助金の、ここで措置費のほうで計上させていただきましたけれども、こちらは、いわゆるおむつの処理をするごみ処理機、いわゆるおむつを保管する保管庫というか、そういうものを東京都の補助金を活用してこちらで予算化しているものでございます。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。5 番、大澤委員。

○5 番（大澤由香里君） すみません、先程の相田委員の質問のところ 133 ページですか、すみません。水質検査をするということだったんですけども、この検査結果とかというのは、町のほうに来たりとかして、それを見ることができるんでしょうか。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境担当主幹。

○環境担当主幹（原島 保君） 5 番、大澤委員のご質問にお答えいたします。

こちらの水質検査の結果というものは、毎年、結果は来ております。見ることはできません。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 5 番、大澤委員。

○5 番（大澤由香里君） 見るのはホームページとかでも見られるんですか。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境担当主幹。

○環境担当主幹（原島 保君） 5番、大澤委員のご質問にお答えします。

こちらにつきましては特にホームページ等載せておりませんが、事務報告書の環境関係のところに載せてありますので、こちらをご覧くださいと思っております。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑なしと認めます。

以上で、款の3民生費、款の4衛生費の質疑を終結します。

次に、款の6農林水産業費、款の7商工費、款の8土木費について質疑を行います。質疑はございませんか。3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） 3番、森田です。

ページ数159ページ、款07商工費、項02観光費、目01観光総務費、このページで2点あるんですが、まず節12委託料で、日本鍾乳洞サミットin奥多摩業務委託の業務先と、このサミットでどのような行事をするのか教えていただきたいことと、あと節18負担金・補助及び交付金で、企業派遣型地域活性化企業人派遣元企業負担金で、こちらがさとゆめとHISの共同事業ということでご説明を伺ったんですが、こちら来る方が男性か女性かと、あと何歳ぐらいの方かと、あとどちらに住まわれるのかということをお教えいただけたらと思います。

そして、ページ数160ページ、目(03)町ふれあい広場事業費の節18負担金・補助及び交付金で、奥多摩ふれあい広場負担金が50万円ほどアップされているんですが、その理由をお教えください。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 3番、森田委員のご質問にお答えいたします。

まず1点目、2点目は159ページ、事業(01)観光総務費の中のまず1点目、節12委託料、説明欄記載の日本鍾乳洞サミットin奥多摩業務委託でございます。こちら日原鍾乳洞が加盟されております日本鍾乳洞協会のサミットが7年度奥多摩町で開催されるものでございます。現時点10月上旬を予定しているところでございます。

日程的には、北は岩手から南は鹿児島からというところで、行程的には長い方は2泊3日当町にいらっしゃるというところでございます。2泊3日のうちの中日の2日目がメイ

ンの日程という形で、日原鍾乳洞への視察であったり、もしくは町内の文化会館、福祉会館を会場にして総会サミット、交流会の開催を予定しているところでございます。

こちらの委託料でございますけれども、現時点、今後の検討になるんですが、日原保勝会との検討になるんですが、旅行会社を含めてその開催に当たっての業務委託という形で計上をさせていただいているところでございます。

続いて2点目、同じ事業、節18の負担金・補助及び交付金の中の企業派遣型地域活性化企業人派遣元企業負担金についてでございますが、こちら4月に株式会社さとゆめさんと株式会社H I Sさんと当町との3者で包括連携協定を締結できればという形で検討準備を進めているところでございます。

先日の説明のとおり、こちら派遣いただくのはH I Sの社員の方という形ですが、現時点で年齢だったり、男性女性であったりというところは確定してございませんので、ご理解いただきたいと思っております。

なお、こちらの事業、総務省の事業でございますが、地域おこし協力隊は移住をしてという条件がありますが、この派遣については移住までは条件ではございませんので、現時点では通いで来られる方に観光産業課内で業務を一緒にという形で今考えているところでございます。

庁内の関係する観光施設等、インバウンドも進めていきたいと考えておりますので、そういう支援もいただければというふうに現時点考えております。

3点目でございます。次のページ160ページ、事業(03)町ふれあい広場事業費の中のふれあい広場分担金50万円増ということで、こちらの50万円増につきましては、先日の説明の中で、7年度、町制施行70周年記念ということで観光イベントを各種冠化いたしますが、このうち4月下旬から5月上旬にかけてのセラピーウォークと、あと11月、昨年はじめて開催しましたが、オータムウィークのウォーキングイベントにプラス50万円を充てて、記念品等具体的にはこれからの検討になりますが、70周年に資するという形で検討を進めている状況でございます。

以上でございます。

○委員長(榎戸 雄一君) 質疑はありませんか。9番、高橋委員。

○9番(高橋 邦男君) 9番、高橋です。

2点お願いします。

1点目は161ページです。商工費です。161の委託料になります。その一番上に観光案内所業務委託940万7,000円、多分、昨年度よりも結構大幅に増額してあると思うんです

けど、その理由をお聞かせください。1点目です。

それからもう一点目は、土木費のほうもよろしいんですけど。土木費のほう1点質問します。169ページです。一番上のところにあります橋梁維持費のところ、工事請負費、雲仙橋の補修工事が始まるようなんですけども、たしか十四、五年前にも大規模な改修があったと思います。この前に聞きそびれちゃったんで、補修の内容をもう一回。それと十四、五年前には人も通行ができなくて、町のほうでワンボックスを用意していただいて送迎をした記憶があるんですけど、今回の場合、車とか人の通行ができるのかどうか。

以上2点お願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 9番、高橋委員の1点目のご質問にお答えをいたします。

歳出161ページ事業（01）観光施設維持管理費の中の節12委託料、観光案内所業務委託でございます。こちら前年度比177万7,000円増の940万7,000円で計上させていただいているところでございます。こちら観光案内所業務委託は観光協会に委託をして行っているところでございますけれども、観光協会からの要望もございまして、人件費も最低賃金等も上がっておりますので、そういった部分でありましたり、あと観光ごみの引取りについては、駅前シルバー人材センターさんの会員をお願いしている部分もございまして、その後の処理等のところを案内所の職員さんをお願いしている部分もございまして、そういったところも加味をして増額という形で計上させていただいたところでございます。

1点目につきましては以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境整備課長。

○環境整備課長（坂村 孝成君） 9番、高橋委員さんの2点目のご質問にお答えさせていただきます。

橋梁維持費の関係で雲仙橋の補修工事の内容ということでございます。先日もちょっとご説明させていただいたところなんですけれども、5年に1度ずつ橋梁の状態の調査をしております、令和4年に雲仙橋を一度調査しております、その調査結果に基づいて今回補修工事を行うということなんです、具体的な内容といたしましては、雲仙橋はトラス橋という構成の橋で、橋台はコンクリート製の橋台ということで、その主桁という桁と下の橋台、こちらを接続させています支承という構成の部材があるんですけども、これが雨水によって腐食が進んでいるということで、ペンキの塗り替えだけではとても済まな

いよという調査結果が出ておりますので、そちらを交換する工事を予定しているということでございます。

先程お話の中で、以前の工事では車も人も止めて工事をしていたということでお話あったんですが、今回は、一応考えていることとしましては、雲仙橋の雲仙屋さん側のところをまずやりたいと思っているんですが、やり方として床面にカットして大きく穴を空けて、そこから下に潜り込んでジャッキアップをして、腐食している部材を交換していくということを考えています。

今回の工事については、当然、穴を開けてしまいますので、車は通行できなくなってしまうんですが、一般の歩行者の方は通勤・通学いろいろあると思いますので、そちらに関しては歩行者を通しながら安全を確保した上で工事をやりたいということで考えておりますので、お願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） お諮りします。会議の途中でありますが、ここで暫時休憩にしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸 雄一君） ご異議なしと認めます。よって、午後2時10分から再開とします。

午後1時56分休憩

午後2時10分再開

○委員長（榎戸 雄一君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

議案第20号、款の6農林水産業費、款の7商工費、款の8土木費について質疑を行います。質疑はありますか。3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） 3番、森田です。

ページ数161ページの委託料の中で、再生可能エネルギーPR館観光案内等業務委託、前年度から200万近くマイナスになっているんですが、その理由を教えてください。

あと、観光用公衆トイレ総合清掃業委託が、オピトの事業が総合開発さんから観光協会さんへ変わったという理由を教えてください。

163ページ、款07商工費、項02観光費、目02観光施設費の(03)五十人平野営場維持管理費の委託料、五十人平野営場維持管理業務委託、今朝の日経新聞のほうに、こちらの五十人平の件が書いてありまして、金額とかはまだ分からないみたいなことが書いてあったんですが、プレスリリースとかは東京都のほうでするのでしょうか。それとも奥多摩町のほうでするのでしょうか。

その3点教えてください。以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 3番、森田委員のご質問にお答えいたします。

まず1点目、歳出161ページ、事業（01）観光施設維持管理費の中の、まず節12委託料、再生可能エネルギーPR館観光案内等業務委託でございますが、こちら昨年度から198万8,000円を減しまして571万2,000円でございます。こちらでございますけれども、開館日等を減らすという形ではなくて、当初から予算計上の際、こちら都の交通局の施設になりますけれども、交通局との協議の中で、開館日数について多めに算定していたということで、来年度についても前年並み、約170日程度を予定しているんですが、その想定の開館日数の相違によって計上積算を整理したということによる減額でございますので、ご理解いただきたいと存じます。

続いて2点目、同じ委託料でございますが、観光用公衆トイレ総合清掃業務委託、2,178万9,000円の計上でございますが、こちら先日の説明のとおり、来年度から委託先を奥多摩総合開発から観光協会さんのほうに変更するものでございます。説明の中でもこの事業を通じて観光PRの更なる推進を図るためという形で説明もさせていただいたところですが、その点と、あと体制的なところについて、業務的に賃金体系と処遇を考える際に、やはり加算をして時給等を設定しないと、求人をかけても、総合開発さんですと、はとのす荘さんであったり、もえぎの湯であったり、キャンプ場であったり、基本的には同じ賃金体系ということで対応されたいということございましたけれども、そうすると、なかなか手が挙がってこないという状況もあり、そういった検討を担当者レベルで重ねる中で、町内の法人というところで、河川清掃や一部観光トイレの実績もある観光協会さんとも協議をする中で、そういった処遇的なところも改善をして対応も可能ということで協議がございましたので、来年度、観光協会さんに委託先を変更するものでございます。

なお、説明のとおり、事業費としては昨年度より100万余り増して、積算のほうも見直しをしまして、常勤3名体制、非常勤2名体制で体制を確保するという形で現時点予定しているところでございます。

続いて3点目でございます。163ページ、事業（03）五十人平野営場維持管理費に関連しまして、プレスリリースについてのご質問かと存じます。こちら都の環境局が整備した施設になりますので、まずは都のプレスリリースというところで、現時点で3月下旬になるのか、4月上旬になるのか、3月に入って雪が続いていますので、最終の工事のところ、電気設備、太陽光のところの工事が3月末というふうに聞いておりますけれども、そ

の進捗によっては4月になるのか、プレスリリースについては整備の状況によってということでご理解いただきたいと存じます。町はその後、都のプレスリリースの後、町として予定をしているところでございます。ホームページへの掲載であったりそういったところを予定しているところでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。8番、宮野委員。

○8番（宮野 亨君） 8番、宮野でございます。

ページ数166ページ、事業（07）地籍調査事業費、説明欄、特別旅費、地籍調査事業担当者講習会特別旅費、すみません、特別に私、かみついちやっただ、どういうことなのかご説明いただきたいのと、もう一点ございます。その次のページなのですが、続きまして167ページ、節12委託料、委託料の一番下、トンネル寿命化計画策定委託ということで、トンネルはずっとダムの方からやってきていると思うんですけど、どの辺まで行って何本目のトンネルをやるのか、ちょっと質問が違うかもしれないですけど、そのところをお伺いしたい。以上2点お願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境整備課長。

○環境整備課長（坂村 孝成君） 8番、宮野委員さんのご質問にお答えさせていただきたいと思います。

1点目の地籍調査事業に関わる特別旅費の関係なのですが、こちらにつきましては令和7年度神奈川県横浜市のほうで担当者講習会が開かれるということで、3日間連続で講習会に出席ということで、宿泊費等も含めてですね特別旅費を計上させていただいたという内容でございます。勉強会ということでご理解いただければというふうに思います。

それから、あとトンネルの長寿命化の関係なのですが、新規事業として今回委託料のほうにトンネルの長寿命化修繕計画の策定ということで予算を計上させていただいております。こちらにつきましては、国交省のほうからの通知に基づきまして、トンネルを管理しているものは長寿命化計画策定して安全を確保しなさいということで来ておりますので、予算計上して委託で成果物を作成するということです。

対象としては4トンネルございまして、町が管理している4トンネルということで、国道等は東京都さんや国のほうでやっていただくということで、4か所が1つは氷川のもえぎの湯へ向かう途中にあるトンネルです。それから、あともう一件が白丸の切り通しの旧道敷にある素掘りのトンネル、それから、3点目が大沢のつり橋の対岸にあるやはり人が通れるだけの素掘りのトンネルということです。白妙橋の対岸ということで、大沢の集落

のほうに回れる人が歩くだけのルートなんですけど、そちらにある素掘りのトンネルで、最後は中山の人家へ上っていく部分の反対側、右側に入っていきますと、旧の鉄道敷の下を渡っているトンネルがあります。その4か所について町が管理しているということで、長寿命化計画を策定するという予定でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。4番、相田委員。

○4番（相田恵美子君） 4番、相田です。

先程の森田委員の質問と関連するところなんですけど、161ページの委託料のところ、観光用公衆トイレ総合清掃業務委託、オピトのところなんですけども、観光協会に変更されるということで、処遇の改善ということの一つ理由に挙げられておりましたけれども、常勤が3名、非常勤が2名というスタッフ体制なんですけど、現在オピトのスタッフは何名いらっしゃるのか伺います。

もう一件、170ページです。款08 土木費、項04 住宅費、目事業（01）若者定住推進事業費の節の12 委託料、説明の委託料の下から4番目の事業です。空家等実態調査業務委託。これ3年目になりますか。委託料と、あとこの事業の効果を伺います。

以上2点です。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 4番、相田委員の1点目のご質問にお答えいたします。

歳出161ページ、先程の3番、森田委員に関連してということで観光用公衆トイレ総合清掃業務委託の関連でございますが、現時点2月末で常勤の方1名おやめになられまして、常勤は現時点1名でございます。非常勤は2名という状況でございます。

町の委託事業ということで、町のホームページに昨年秋、また、この2月にも町の委託事業のスタッフという形で町のホームページでも今、掲載をし、求人を図っているところでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 若者定住推進課長。

○若者定住推進課長（坂本 秀一君） 4番、相田委員の2点目の質問にお答えします。

ページ170ページ、款08 土木費、項04 住宅費、目01 住宅管理費の若者定住推進事業費の中、節12 委託料の空家等実態調査業務委託、こちらですが、まず予算としましては、7年度は700万円を予定しているところでございます。また、こちらの効果としましては、1つは、この空家を確認することによって業者に写真、調査結果をいただきますので、それがウェブのほうのシステムで確認できるようになりますので、その所有者の方から寄附

したいですとか、売りたいとか、そういうようなお話があるときには、このシステムで住所とか、大体の所在地、場所などを言っていただければ電話口で素早くスムーズにお答え等はできるところがございます。

また、今年度、空家を所有している方たちにアンケートを行いまして、空家の所有、今後どのような方向を考えているかというようなことで約4割ほど回答をいただいたところで、7年度以降については空家を手放したいとかいうようなお話がある方には、空家バンクへ登録などの掘り起こしを行っていきたいと考えております。

委員からも3年目ということでお話しされておりましたので、今後これを毎年やるのかどうか、または別の何か代替手段として、例えば地域おこし協力隊を使って空家のそういった情報を掘り起こしですとか、管理、そういったところができないかとか、経費の削減等も含めていろいろ検討していきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。8番、宮野委員。

○8番（宮野 亨君） 8番、宮野でございます。

161 ページ、節 12 委託料、説明のところでは真ん中辺ですか。鳩の巣溪谷遊歩道清掃業務委託というこの業務委託の内容、どの辺をどのぐらいのペースで何人でやるのか。年に何回やるのかぐらい、分かるところでいいんですが、教えていただきたいんですが、お願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 8番、宮野委員のご質問にお答えいたします。

161 ページ、事業（01）観光施設維持管理費の中の鳩の巣溪谷遊歩道清掃業務委託 64万9,000円の計上でございますが、申し訳ございません、手持ちの資料で回数、日数、状況、人数等ございません。後程答弁させていただきたいと思っております。申し訳ございません。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。2番、伊藤委員。

○2番（伊藤 英人君） 2番、伊藤です。

款 08 土木費のところでは伺いたいと思っております。168 ページです。目 02 道路新設改良費で、事業としては（01）都補助道路新設改良事業費です。令和6年度にもありましたけれども、竹の平中線について改めて出てきております。例えば節 16 公有財産購入費などでも竹の平中線用地買収費などが改めて出てきております。先日の補正予算の中では、この竹の平中線については実施できなかったということでした。この令和7年度に関しては何か新しいやり方があるのであれば教えてください。

あと2つお聞きしたいところがあります。ページ数は152ページ、款 06 農林水産業費

です。事業（07）森林環境整備事業費で、節 18 負担金・補助及び交付金の中で、説明欄の一番下、多摩の森活性化プロジェクト推進協議会負担金 20 万円とあります。この令和 7 年度の多摩の森活性化プロジェクトの活動予定の内容が現状予定があれば教えていただきたいというのが 1 つと、あともう一つが 163 ページです。先程もありましたが、事業（03）として五十人平野営場維持管理費などがありました。プレスリリースなどに関して、もやはり都がまずやることであって、町はその後でやるということでした。営業収入としては 360 万円を見込む形ではじめていきますが、例えば五十人平野営場というお名前はちょっと堅苦しいなという気がします。例えばネーミングライツを実施する場合、そういったものは都が実施するのか、町が実施するのか、この営業収入の確保の部分も含めて確認したいと思いました。

以上 3 点です。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境整備課長。

○環境整備課長（坂村 孝成君） 2 番、伊藤委員さんのご質問の 1 点目にお答えさせていただきます。

小丹波地内竹の平中線の事業に関するご質問でございます。委員からあったとおり、先日の 3 月補正のときも竹の平中線ということで補正をさせていただいて、6 年度予算からは削除ということでご理解をいただいたところです。

この路線については地域のほうでどうしても道路が欲しいという強い要望がありまして、補正の段階では道路の中心線が決まらなかったもので、6 年度ではちょっと厳しいということで補正をさせていただきました。

大きな変化という部分につきましては、特段今のところお話しできることはないんですけども、7 年度はぜひその辺の詰めをして実現化していきたいということで、7 年度の予算に改めて予算を計上させていただいているということでございますので、よろしくお願いしたいと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 1 番、伊藤委員の 2 問目のご質問にまずお答えいたします。

ページ 152 ページ、事業（07）森林環境整備事業費の中の多摩の森活性化プロジェクト推進協議会の関連ということでよろしいでしょうか。7 年度についてでございますけれども、こちら令和 5 年 7 月に都内 12 区市町村と東京都で森林環境譲与税の活用をするということで、都内連携の協定を締結したプロジェクトとなります。7 年度の予定としまして、

現場体験ということで区部の都民の方に奥多摩であったり、檜原であったり来ていただいて森林体験ということで、今年度6年度も実施をしていますけれども、町としてはおくたま地域振興財団のほうで森林セラピー等の事業で都内区部の区民の方に来ていただいている状況がございます。

続いて3点目、163 ページ、五十人平野営場の関連で、収益ということでネーミングライツというご意見をいただいたところがございますが、こちら都の施設になりますので、そちらをもしやるとしても町の判断ではなくて、都の判断という形になりますので、ご理解いただきたいと存じます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。10 番、原島委員。

○10 番（原島 幸次君） 10 番、原島です。

2 点ばかり質問させていただきます。

ページ数は150 ページ、款06 農林水産業費、目03 松くい虫駆除対策事業費、委託料で200 万なんですけど、これについての駆除対策場所、それと今までに行われました駆除に対する費用対効果、その辺についてちょっとお聞きしたいなと思います。

もう一点は166 ページ、款08 土木費、目(07) 地籍調査事業費、節12 委託料2,260 万円。これは長畑が今年で終わります。そして、今まで川井からずっとやってきまして、7 年度は大氷川安戸地域ということなんですけど、最終的に見込みは何年頃になるか、お聞きしたいなと思ひまして、よろしくお願ひします。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 1 番、原島委員のご質問にお答えいたします。

まず1 点目でございます。150 ページ、事業(03) 松くい虫駆除対策事業費でございます。こちら4 年サイクルで実施をしております。来年度7 年度につきましては、令和3 年度に実施した小河内神社周辺ということで、この事業自体も小河内神社の周辺を重点的に行っておりますけれども、7 年度としましては、その小河内神社周辺ということで54 本を見込むところでございます。

なお、効果というところで今年度令和6 年度も小河内神社中心に95 本を実施しておりますけれども、4 年前の2 年度が97 本の実施でしたので、2 本は減っておりますけれども、効果としてあって、倒木等が起こればこの地域、停電等の支障もあるようなところでございますので、効果があるものという形で都の補助を活用して引き続き実施を担当課としては考えているところでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境整備課長。

○環境整備課長（坂村 孝成君） 10 番、原島委員さんの 2 点目のご質問にお答えをさせていただきますと思います。

地籍調査事業の関係でご質問をいただきました。昨年は、委員おっしゃられたとおり、長畑地区の調査を実施させていただきました。7 年度につきましては、大氷川地区の学校の上部から安戸へかけてということで予定をしているところでございます。

地籍調査につきましては、平成 17 年から継続して進めてきておりますが、筆界未定があったり様々なことがありまして、スピード感を持って進めていくことがなかなか困難な状況ではございますけれども、今後も引き続きしっかりと調査対応に努めていきたいというふうに思っております。

今後なんですけれども、氷川地区の上部をやらせていただきました後は、今度氷川の下部というか、多摩川から学校までの間をやらせていただいて、その後、栃久保、除ヶ野、それから南氷川登計ということで、西側に向かって調査を進めていきたいという計画でございます。

今後の進捗状況によって多少前後があるかと思いますが、現段階では令和 24 年に小河内の留浦地区まで到達したいという計画で毎年度調査を進めているところでございます。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。6 番、澤本委員。

○6 番（澤本 幹男君） 6 番、澤本です。

2 点ほどです。まずページが 140 ページで、山村地域農林業振興事業費の中の節 18 負担金・補助及び交付金で説明欄の負担金・補助及び交付金の中の山ワサビ用モノレール設備費負担金で 954 万 4,000 円が出ています。今年はどういう予定をしているのか。また、毎年出ていると思うんですけど、今後も必要な部分があると思うんで、町も力を入れてもらいたいワサビということなんですけど、今年、また来年でどのようにワサビ田モノレールを考えているか教えていただきたいと思っております。それが 1 点目でございます。

2 点目は、先程来出ている 163 ページの五十人平の件なんですけど、野営場の委託ということ 850 万、雲取山荘に委託するというところでございます。それで、お金のほうが観光委託費で 500 万入ってきて、残りの 360 万、実費徴収費ということでございまして、これはまだスタートしたばかりで分からないので、予想で 1 人 2,000 円でトイレ 100 円ということでお聞きしていますけど、そうなると実費ということで、360 万いかなかった場合は、

500万残りは町が払うということの解釈でよろしいんですか。全部東京都が850万を払っていただくということですか。歳入のほうでは東京のほうから500万ですね。実費徴収ということは、町が委託することで、実費徴収ということは町の負担部分ということで解釈していいのか、そこを2点教えていただきたいと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 6番、澤本委員のご質問にお答えいたします。

まず1点目、歳出140ページ、事業（04）山村地域農林業振興事業費、ワサビ田モノレールの設置負担金でございますが、こちらこれまでは新設のモノレールのみという状況だったんですが、こちらは都補助を受けていますけれども、今年度6年度から改修も可ということで、今回海沢地内の改修を今年度行ったところでございます。新年度7年度については、現地で未定で、こちら山葵栽培組合さんからの要望に基づいて実施をいたしますので、ご理解をいただきたいと存じます。

続いて2点目、163ページ、事業（03）五十人平野営場維持管理費の関連でございますけれども、こちら初年度ということで、どれくらいの方が利用されるのか、都の環境局の担当の方とも協議を重ねている中で、見込みがなかなか難しいというところもございます。ただ一方で、町から再委託で雲取山荘さんをお願いするわけなんですけど、雲取山荘の新井様からも、もしかすると今まで山荘を利用された方が五十人平のほうを利用されるような形で、山荘の利用者さんが減るのではないかとというようなご意見もいただいているところがございます。

ですので、当初予算としては過大に見込まず、低めという形で現時点テントサイトの利用2,000人という形で見込んでおります。参考までに、奥多摩小屋が閉鎖の平成30年は、テントの利用が3,665名おりましたので、2,000人も下ることはないのではないかというふうに見込んでおります。万一それよりも下回った場合については、野営場の管理棟もございますので、あとトイレ、特にトイレの維持管理が現時点、都との協議では年72回、実質オープンは4月下旬から11月末までの実質7か月間ですので、基本的に土日、祝日は常駐をいただき、残りの冬の期間の5か月間は、月一、二回程度の積算での清掃点検というような形でございます。トイレの使用状況によって、こちらテントの利用だけではなく、そこを通過する方のトイレの利用もありますので、それがどれくらいなのかというのも正直、今年度運営してみてもというところがございますので、状況によっては補正予算でご提案をさせていただく状況もあろうかと思いますので、ご理解いただきたいと存じます。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。5番、大澤委員。

○5番（大澤由香里君） 5番、大澤です。

167 ページ、ちょうど真ん中のところ、節 12 委託料のところ、下から2行目の町道除雪作業委託100万円計上しているということでしたが、委託先と、あと、結構住民の方からここもやってほしいんだよななんていう意見をよく聞かれるんですけど、そういうところも委託している業者さんに頼んでやっていただけるかどうかということなんです。

あともう一点、同じ167ページ、項02道路橋梁費、節14工事請負費、町道維持補修工事のところ、3,000万円出ていますが、今年、海沢調整池のところに登る道、ぼこぼこしているのをやっていただきたいということを要望しましたら、やっていただいたんですけども、結構1か月ぐらい通行止めにしてたのかな。余りにもその区間が短くて、町民の方から「これだけ」というので、課長のほうに伺いましたら、またやるというふうにお答えいただいたんですけども、一遍にもうちょっと長い距離できないのかということと、令和7年度もやっていただけるかどうかというのを教えてください。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境整備課長。

○環境整備課長（坂村 孝成君） 5番、大澤委員さんの質問にお答えさせていただきます。

1点目、除雪の関係ですが、委託先はということでお話ございました。この業務に関しましては、町の建設業協会に加盟している業者さんにそれぞれ担当路線ということで委託をして除雪のご協力をいただいているところでございます。

この話も今までいろいろ繰り返しお話しをしているところなんですけど、基本的には国道・都道に町内の建設業協会の皆さんが優先的に除雪をしていただいて、その後、町道や林道のほうに入ってきていただくということで、時間的なタイミングがちょっと遅くなるという傾向はあるんですけども、これはやむなしなので、町民皆さんにもご理解をいただきたいなというふうに思っています。

基本的には、通学路であったり、バス路線であったり、主要路線ということで現在25路線ほど除雪対象路線と位置づけて、業者の皆さんに対応いただいているところなんですけど、これもケース・バイ・ケースというか、その都度その都度積雪量等にもよるんですけど、業者さんの手が早く空けば、他の25路線以外の部分で必要だと判断した場合はお願いをさせていただいて、除雪もしていただくという対応も取っています。

また、緊急でどうしてもすぐというような案件が発生した場合は、私どものほうで直営で対応させていただいているということで、今シーズンはおかげさまでそんなに雪が降らなかったということなんですけど、これは毎年気象の状況でどうなるか分からないとい

うところがありますが、いずれにせよ冬場の除雪に関しては、町民の皆さんにご負担なりご不便をおかけしないように対応していきたいというふうに考えていますので、よろしくお願いをしたいと思います。

それからもう一点、道路維持の関係で具体的に海沢貯水池の下の舗装工事ということで、具体的な案件をお示しいただいてお話いただきました。誠に申し訳ないんですが、町内広くて、これもいつもお話ししているところなんですが、町道路線 337 路線抱えていまして、18 自治会それぞれ地域からいろんなご要望をいただいているというところで、それらをバランスよく優先順位をつけながら対応させていただいているというところがございます。

今お話の路線、一部区間を去年舗装させていただいたんですけれども、傷みがひどいということは重々承知しているところなんですが、今言ったような条件から 1 つの路線だけ一気に費用をかけて対応するということが難しい状況がございますので、今後また複数年かけて少しずつかもしれませんけれども、舗装延長を延ばしていきたいと考えていますので、地域の皆様にはそのようなことでお話いただければと思います。よろしくお祈いします。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。5 番、大澤委員。

○5 番（大澤由香里君） ご答弁ありがとうございます。そうしますと、来年度やることはないということですか。ほかのところ優先で。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 5 番、大澤委員さんの再質問にお答えさせていただきます。

すみません、結論を言わなくて申し訳なかったんですが、今年度も実施予定です。ただし、予算の制約等ありますので、具体的に何mできるかというのは、今後の検討と現地の調査によるということでご理解いただきたいと思います。実施させていただきます。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。2 番、伊藤委員。

○2 番（伊藤 英人君） 2 番、伊藤です。

139 ページから行きます。すみません、3 点ほどあるんですけれども、まずは事業 (02) 農作物有害鳥獣対策事業費として、節 10 需用費、消耗品費としてクマスプレーが購入される予定だということなんですけれども、クマスプレーをどれぐらいの本数、どこへ配置するのかというところを伺いたいというのと、節の一番下、17 備品購入費、バードクラッカー発射台なんですけれども、今回はこのバードクラッカーの土台の部分を買う

ということですが、そもそものバードクラッカー自体がどれぐらい在庫していて、今後どう活用していくのか。多分、現状だと職員の方が打ちに行くということにしているんだと思うのですが、発射台を購入することで今後どう変わっていくのかというところを伺いたいです。

次に 141 ページ、目 03 農業振興費で、事業 (01) 農業振興総務費、委託料の一番下のところ、節 12 委託料、ワサビ田台帳システム保守業務委託なんですけれども、このワサビ田台帳はこれまでもずっと使っているシステムなんですけど、この活用の仕方がいまいち分からなくて、誰が使えるのか、ホームページで公開などがされているのかというところを伺いたいです。お願いします。

○委員長 (榎戸 雄一君) 観光産業課長。

○観光産業課長 (大串 清文君) 2 番、伊藤委員のご質問にお答えいたします。

まず 1 点目、139 ページ、事業 (02) 農作物有害鳥獣対策事業費の中の消耗品、先日、説明でクマよけスプレーの説明をさせていただいたところですが、こちら単価約 1 万 6,000 円のを 60 本、95 万 7,000 円購入予定でございます。こちら主に山葵栽培組合さんのほうから令和元年のときも人的被害がございましたけれども、山、沢の中、奥に入られますので、現時点で担当課としては、山葵栽培組合さんのほうに購入後、講習を実施した上で配布を予定しているところでございます。

続いて 2 点目、同じページ、備品購入費、バードクラッカー発射台でございますが、こちら都のツキノワグマの対策の委託を活用してのバードクラッカーの発射台となります。主にクマ対策、クマよけという形、クマの追い払いという形でございます。バードクラッカー、花火自体は消耗品費の中で計上をしているところでございます。活用としては町職員よりも猟友会の方に活用という形で現時点考えているところでございます。

続いて 3 点目、141 ページ、事業 (01) 農業振興総務費の中の節 12 委託料、ワサビ田台帳システム保守業務委託でございますけれども、こちら町のホームページで公開しているものではなく、町職員が主に活用しているシステムになりますので、ご理解いただきたいと存じます。

以上でございます。

○委員長 (榎戸 雄一君) 伊藤委員。

○2 番 (伊藤 英人君) ありがとうございます。ワサビ田台帳とかバードクラッカーとかは了解いたしました。ありがとうございます。

改めて 2 点質問があります。160 ページです。目 01 観光総務費ですが、事業 (03) 町

ふれあい広場事業費などでふれあいまつりについて触れられておりますけれども、観光大使の任命とか、昭和歌謡ショーに歌手をお招きするとかありましたけれども、こういったものはどなたか目星がついている、もしくは町民の意見を聞いてどういう方を招きたいのか、任命したいのかというのを募っていくのかとか、そういうアイデアがあるのかどうか伺いたいと思います。もしくは、こういう方がいいかなという希望が実施者としてあるのかどうか、伺いたいと思います。

次が 161 ページになるんですけれども、ここは先程来質問がありました、節 12 委託料の中で観光用公衆トイレ総合清掃業務委託などのところで、歳入でいうと 38 ページですけれども、特徴を踏まえたエリアのまちづくり支援事業の補助金というのが東京都からありますけれども、観光PRを兼ねた事業を行っていくということでしたが、この特徴を踏まえたエリアのまちづくり支援事業というのがいまいまいちよくつかめない状態です、令和7年度の事業としてはどういう形でこの補助金が活用されていくのかという活動内容を少し教えていただければと思います。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 2番、伊藤委員のご質問にお答えいたします。

まず1点目、160 ページでございます。事業（03）町ふれあい広場事業費の中の奥多摩ふれあいまつりの分担金に関連して、昭和歌謡ショー、もしくは観光大使についてのご質問でございます。現時点で予算の要求もございますので、昨年来から担当課としては内々に打診もしているところでございます。

こちらふれあいまつりの実行委員会もございますので、現時点3月下旬に開催を予定しているところでございますが、その実行委員会の中で、担当課として事務局としての考え方をお示しをして、こういった形で検討を進めていくことについてご審議をいただきたいというふうに考えているところでございます。ですので、詳細についてはこの場はまだ差し控えさせていただきたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。

続いて2点目でございます。161 ページ、新たな歳入も含めて都の補助金を活用しての都の都市整備局の補助金になりますが、新たな歳入ですと、38 ページ、商工費都補助金の特徴を踏まえたエリアのまちづくり支援事業補助金でございます。こちら補助率2分の1で、入りとしましては234万5,000円でございます。充当する事業としましては、現時点、161 ページにお戻りいただきまして、委託料の説明欄記載の下から1行目の観光ごみ引取り業務委託、下から2行目、その上のドローン河川監視等業務委託、更に10行上の

観光駐車場等交通整理業務委託、こちら合計額が3項目合わせますと469万円で、2分の1の補助で234万5,000円の補助を財源とするものでございます。

これまで一般財源という形の支出でございましたので、財源を確保した上で、具体的に昨年の夏の状況等を踏まえますと、マナーアップキャンペーン等の振り返りの中でも外国人の方、他言語の対応であったり、苦慮している部分がございますので、マナーアップ強化キャンペーンのメンバーの皆さんとも新年度になりましたら早々に打合せの機会を設けて、早々に5月の連休、春の大型連休もありますし、8月のお盆休みに向けてどういった形で対策を取っていくのか、具体的に更に検討を進めていくところでございますので、ご理解をお願いいたします。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。5番、大澤委員。

○5番（大澤由香里君） 5番、大澤です。

今のところのマナーアップ強化の課長のご説明で、マナーアップ強化のメンバーというご説明だったんです。これはどういう方かなというのと、あと補助金が青梅と連携した取組ということだったと思うんですけど、青梅とはどういうふうにと組をされるのかというところと、あと先程再質問をし忘れまして。すみません、除雪のところ、建設業協会のほうに委託をするということなんですが、建設業協会の建設業の具体的な業者さんの名前とか、あと委託の1件について幾らとかそういうのが答えられましたらお願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 5番、大澤委員のご質問にお答えいたします。

1点目でございます。先程の161ページに関連してということで、伊藤委員のご質問の際にマナーアップ強化キャンペーンの取組を回答させていただきましたが、そのメンバーでございますけれども、環境省の自然保護官事務所の方であったり、ビジターセンターの職員さんであったり、もしくは町の観光協会、おくたま地域振興財団の職員の方、もしくは奥多摩駅前周辺の民間の事業者の皆さんに参加いただいております、20名ほどの方々となります。

また、関連という形で先程の補助金、都の都市整備局ですが、青梅と連携してということの中で、現時点、青梅市さんからお聞きしているのは、青梅さんとしてはバーベキュー、特に釜の淵のところのバーベキュー客の対応で苦慮されているということですので、そちらでの対応にこの補助金を充当されたいというふうにお伺いしているところでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） 環境整備課長。

○環境整備課長（坂村 孝成君） 5番、大澤委員さんの2点目のご質問です。

先程の関連の除雪の関係ということでご質問いただきました。具体的な会社ということなのですが、基本的には町内の建設業者皆さんが奥多摩建設業協会に加盟しているという前提です。それぞれの地域に所在している業者さんがそれぞれの地域の路線を担当いただいているということでございますので、そのようにご理解いただければと思います。

それから費用等の問題というか、お話なんですけど、どれぐらいということなんですけど、基本的には協会さんと町との間で1時間当たりの実働単価を取り決めさせていただいておりました。各業者さんがどれぐらいの時間実働したかということ町の方に報告書で報告いただいて、それによって年度末に皆さん一斉に除雪費として精算させていただくという事務の処理の仕方となっておりますので、お願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑はありませんか。6番、澤本委員。

○6番（澤本 幹男君） ページが171ページで、土木費の中の若者定住化の中です。それで171ページの節18負担・補助及び交付金の中で、一番下の移住・定住応援補助金1,750万があります。これは私も一般質問させていただいたりして、4月からの部分に適応していただけるということでもよろしいのかと、内容についても一度補助金内容を教えていただきたいと思っております。よろしく申し上げます。

○委員長（榎戸 雄一君） 若者定住推進課長。

○若者定住推進課長（坂本 秀一君） 6番、澤本委員のご質問にお答えさせていただきます。

171ページの節18、移住・定住応援補助金の内容ですが、こちら例えばこの対象になる若者の方が家を建てたり、または中古の家を買ったり、その中古の家をリフォームした費用に対しまして最大200万円を補助する補助金でございます。中には町内の業者さんを使った場合や多摩産材の木材を使用した場合などには、それぞれ10万円ずつ追加で商品券を交付するというような補助金内容となっております。

以上になります。

○委員長（榎戸 雄一君） 6番、澤本委員。

○6番（澤本 幹男君） 答弁ありがとうございます。今ご説明いただいたんですが、この補助制度の200万というのが若者定住・移住応援条例が基本ですよね。若者定住応援の令和2年3月9日の条例第2号ということで、奥多摩町移住・定住応援条例に載ってい

るんですけど、これが200万までだとか、利子補給をすとか。この条例は令和7年3月31日、その効力を失うとなっているんですけど、これはどうするんですか。令和7年3月31日限りその効力を失うと。令和2年3月9日の条例第2号、奥多摩町移住・定住応援条例にはそう載っています。これからスタートするに当たって、この条例はどうか、お聞きしたいと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 若者定住推進課長。

○若者定住推進課長（坂本 秀一君） 6番、澤本委員の質問にお答えいたします。

指摘いただきまして大変ありがとうございます。こちら誠に申し訳ございません、私どももののほうの課で、こちらの今年度いっぱいこの効力を失うというところの確認ができておりませんでした。条例ですので、議会にお諮りしなければいけませんので、こちらにつきましては早く対応して、来年度以降もこの補助金が見える、若者の方たちが使えるようにしていかなければいけませんものですので、今後、対応させていただきたいと思います。

以上になります。

○委員長（榎戸 雄一君） 6番、澤本委員。

○6番（澤本 幹男君） ありがとうございます。いろいろ期限がそんなに来ているのかと思ったんですけど、確認したらそういうことが出ていましたので、これは若者定住課だけの問題じゃないと思うんで、担当課の例規集を担当するご担当かわかんないですけど、ちゃんと見なきゃ駄目だよ、こういうのは。それは担当課の責任だけじゃないと思いますんで、そういうものをきちんとやっておかないと、後でそういうものを例えば監査で指摘とかいろんな問題が起こると思うんですよ。そういうことをちゃんとやっていないと出るから、担当課だけの問題じゃないんで、ほかのところもあるかと思うんで、こういうのをきちんとやってください。よろしくをお願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 井上副町長。

○副町長（井上 永一君） 澤本委員のご意見に対してお答えいたします。

本当に担当課だけではなくて、法制担当もいるわけです。また、私どももその点についてしっかりと確認すべきであったと反省いたします。今後このようなことのないように対応いたしますので、ご理解をお願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 澤本委員、よろしいでしょうか。

○6番（澤本 幹男君） ありがとうございます。

○委員長（榎戸 雄一君） お諮りします。会議の途中でありますが、ここで暫時休憩したいと思います。ご異議ありませんか。

(「異議なし」と呼ぶ者あり)

○委員長(榎戸 雄一君) ご異議なしと認めます。よって、午後3時25分から再開いたします。

午後3時11分休憩

午後3時30分再開

○委員長(榎戸 雄一君) 休憩前に引き続き、会議を開きます。

議案第20号の質疑を続けます。7番、小峰委員。

○7番(小峰 陽一君) 先程の澤本委員の中に問題がありまして、極力早いうちに条例改正をしないと、この予算が通りませんから。それは我々も協力しますんで、ぜひそういうことでお願いしたい。引き続き質問ができる範囲内のところまで進めていただきたいと思います。

以上です。

○委員長(榎戸 雄一君) 観光産業課長。

○観光産業課長(大串 清文君) 先程、8番、宮野委員のご質問に答弁漏れがございましたので、大変申し訳ございません、お答えをさせていただきます。

歳出161ページ、事業(01)観光施設維持管理費の中の節12委託料、鳩の巣溪谷遊歩道清掃業務委託につきまして、こちら今年度の実績でございますが、日数が63日、人員は1人で対応いただいております。単価が8,568円で、合計で今年度の実績としては60万5,102円でございます。

なお、委託先はシルバー人材センターに委託をしております、来年度も委託を見込んでいるものですが、単価の増で前年度比4万9,000円増の64万9,000円で見込んで計上させていただいているところでございます。答弁漏れ申し訳ございませんでした。

○委員長(榎戸 雄一君) 8番、宮野委員、よろしいでしょうか。8番、宮野委員。

○8番(宮野 亨君) 8番、宮野でございます。

掃除していただくとありがたいんですが、そうすると前に一般質問したんですけど、ロックライミングですか、石が白いチョークみたいなので汚れちゃうという、そこまでの掃除はちょっと難しいね。ごみを拾う程度で推移するのかなという。これは答弁は要りません。そのことを一言だけ述べさせていただきました。結構でございます。

○委員長(榎戸 雄一君) ほかに質疑はありませんか。5番、大澤委員。

○5番(大澤由香里君) 5番、大澤です。

154ページ、款06農林水産業費、項02水産業費の目01水産業総務費のところなんで

すが、フルタイム会計年度任用職員3名分、これ地域おこし協力隊かと思うんですが、地域おこし協力隊、1期で3人、2期で2人、今まで5人の方に来ていただいていますけれども、そのうち4人が町外へ移住されています。ほかの市町村ですと、協力隊の定着率は大体65%から70%ぐらいあるんですけれども、奥多摩町の場合は、現在20%です。定着しないのはなぜかなというところで、また新たな地域おこし協力隊を採用するんだと思いますけれども、また同じように町外へ出ちゃうと、何だかなという感じなので、その辺の対策というか、考えというか、ありましたらお願いいたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 観光産業課長。

○観光産業課長（大串 清文君） 5番、大澤委員のご質問にお答えいたします。

154 ページ、事業（01）水産業総務費の中で、フルタイム会計年度任用職員、こちらについては地域おこし協力隊の予算を計上させていただいているところがございます。委員ご指摘のとおり、これまで1期、2期合わせて5名という形でございますが、4名の方は残られずというところがございます。2期目の2名につきましても、先月2月末で任期満了退任でございますけれども、年度当初、町にそのままお残りいただけないか、特にこの2期目の2名については小河内漁協でヤマボコの開発等もされて、水産業の知識、経験もございましたので、引き続き漁協であったり、もしくは町の中でというような形で紹介もし、更には7月でしたか、定例会に師岡町長にもご出席いただいて直接声かけもさせていただいたところがございますが、お2人、将来の夢等もあって出身である岩手のほうに戻られるというところでしたので、そこはご本人のご希望というところでやむなくというところがございます。

当初は更に3期という形で採用目前までだったんですが、辞退というところで、今後また企画財政課とも調整しながら募集をかけていく形ではございますけれども、現時点、隊員1名ございますので、引き続きというところと新たな隊員についても任期満了後も奥多摩町に引き続きという形で定着いただけるように担当課としても対応してまいりますので、ご理解いただきたいと思います。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑なしと認めます。

以上で、款の6農林水産業費、款の7商工費、款の8土木費の質疑を終結します。

次に、款の9消防費、款の10教育費、款の11災害復旧費、款の12公債費、款の13諸

支出金、款の 14 予備費について質疑を行います。質疑はありませんか。10 番、原島委員。

○10 番（原島 幸次君） 10 番、原島です。

ページ数は 196 ページ、款の 10 教育費、目の 03 学校建設費の節の 12 委託料なんです
が、奥多摩中学校立木伐採枝打ち作業ということなんです、どの辺の木を切るのか、ど
んなふうな木を切るのか、枝だけなのか、根っこから切るのか、中学に桜の太いもあり
ますし、それも全部切っちゃうのかどうか、その辺をお聞かせいただきたいなと思います。
よろしくお願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 教育課長。

○教育課長（清水 俊雄君） 10 番、原島委員のご質問にお答えします。

奥多摩中学校の立木伐採枝打ち作業の内容についてです。内容につきましては、伐採が
4 本、枝打ちが 11 本予定しております。予定では 54 m³ぐらいの量を伐採、または枝打ち
することになっております。

委員おっしゃるとおり、中学校を上がったとこの桜の木等あると思うんですけども、あ
そこのところは枝打ちで処理をしたいと思っています。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。10 番、原島委員。

○10 番（原島 幸次君） 桜も大分古くなってきておりますし、枝のほうもかなり伸び
ております。日野なんかでは、公園の枝が折れてけがをしたとかというのがございます。
教育委員会のほうでも学校関係の木を見てもらって、そういうのがあれば、早急に処理す
る、或いは切る、或いは物によっては根元から切ると。そうして危険性を除去するのの一
つありかなと思ひまして、その辺も併せてお願いしたいと思ひます。

○委員長（榎戸 雄一君） 8 番、宮野委員。

○8 番（宮野 亨君） 8 番です。

今の原島委員の関連で、ページ数は 191 ページ、事業（01）小学校建設事業費、説明に
ついて委託料で氷川小学校立木伐採枝打ち作業、これもそうしますと桜の木や何かなん
しょうけど、大きなクレーンを入れてつるして切るような安全対策でやるのかなと思ひま
したんで、そのところを伺いたいです。484 万であっても、そのほかに 200 万ほどあ
るんで、大型クレーンを入れてやるのか、作業内容について伺ひします。

○委員長（榎戸 雄一君） 教育課長。

○教育課長（清水 俊雄君） 8 番、宮野委員さんのご質問にお答えします。

氷川小学校の立木伐採枝打ち作業の内容ということで、こちら氷川小学校につきまして

は伐採が8本、枝打ちが20本ということで、ラフタークレーンというクレーンを使いまして、そちら予定では、工程では3日間使うような形で作業を予定しています。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑はありませんか。3番、森田委員。

○3番（森田 紀子君） 3番、森田です。

ページ数が179ページ、款09消防費、項01消防費、目04防災費の節12委託料、ハザードマップ作成委託530万。以前作られて各家庭に配布されておりますが、その新たなものでしょうか。

そして、同じく節17備品購入費、簡易トイレとポータブル蓄電池、簡易トイレはトータルで今、備品として奥多摩町に幾つあって、ポータブル蓄電池は幾つ購入で、何ワットのものを購入するのか。

あと節18負担金・補助及び交付金で、緊急輸送道路沿道建築物等耐震補助金で3,352万5,000円、こちら小河内地内での物件だというお話ですが、小河内のどちらか、教えていただけたら幸いです。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 総務課長。

○総務課長（山宮 忠仁君） 3番、森田委員さんからのご質問にお答えいたします。

3点ということで179ページでございます。防災費ということで1点目が12の委託料ということで、この中のハザードマップの関係ということでございます。こちらにつきましては、以前というお話も今もいただいたところでございます。こちらにつきましては、東京都におきまして5年に1度の見直しがあったということで、計画区域の見直しに伴うハザードマップの更新ということになります。

それから、併せて現在のハザードマップの中に、今度は浸水想定区域というものも加えなさいということで、奥多摩町の中だと、こういう峡谷ですので、なかなか人家がそういう危険性があるところちょっと考えにくいところであるんですが、ただ、そういうものも加えなさいということですので、それを含めて更新をさせていただくということになります。

それから、2番が備品の関係でございます。備品購入費で、簡易トイレとポータブル蓄電池ということでございます。簡易トイレの部分でございますけれども、今回、文化会館に2基、それからふれあい館に2基ということで、令和6年度に福社会館のほうは2基ですので、そこを同じ数量を入れるということがまず1つと、それでいわゆる簡易トイレと

いうところで、ラップ式とかいろいろあるんですけども、その合計が今幾つあるかという話なんです、自治会の部分も含めてで直近の数字では264ということでございます。

それから、ポータブルの電池の関係です。ポータブル蓄電池ということでございます。これが今回は、これもいわゆるガソリン式の発電機、各生活館とかには以前そういった発電機を置いてあるんですけども、福社会館、文化会館、ふれあい館に1台ずつ今回は配備したいという内容でございます。

ワット数というお話をいただいたと。特殊なポータブル蓄電池というものではなくて一般に流通している、1、2泊キャンプで使用が可能な、そういったものでございます。大容量とは書いてあるんですけども、1,500ワットアワーというようなことでございます。

それから、3点目のほうですけども、18の負担金・補助及び交付金ということで、緊急輸送道路沿道建築物等耐震補助金で小河内地区というお話をさせていただきました。川野エリアの個人所有の川野駐車場の前のお店ですけども、そちらを予定しているということで、面積がかなり広いので、金額も大きいというような状況でございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。8番、宮野委員。

○8番（宮野 亨君） 8番、宮野でございます。

ページ186 ページ、事業(01)小学校管理費、説明欄、下のほうから13番目くらいかな、給食用エレベーター保守点検委託とあって、このエレベーターというのは、ほかの給食センターだとか、中学校、氷川小とかにエレベーターがあるのか。それでエレベーターというのは年に1回の点検で済んでいるのか、2年に1度なのか。壊れればすぐに点検しなきゃなんですけど、一応点検としては年1回で行われているのかの回数を聞きたいんで、よろしくをお願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 教育課長。

○教育課長（清水 俊雄君） 8番、宮野委員のご質問にお答えします。

186 ページです。事業(01)小学校管理費の委託料の中の真ん中のあたりに給食用エレベーター保守点検委託というところなんです。こちらにつきましては学校のほうで給食用のコンテナを2階、3階に運ぶエレベーターとなっています。点検につきましては、隔月で行ってまして年6回行っております。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。4番、相田委員。

○4番（相田恵美子君） 4番、相田です。

ページ 195 ページ、款 10 教育費、項 03 中学校費、目事業の 2 点あります。(02) の準要保護等生徒就学援助事業費、説明の欄の就学援助費 29 万 6,000 円。昨年度より 84 万 4,000 円減っているんですけど、今現在何人就学援助を受けているかということを伺います。

2 点目です。その下の (03) 奥多摩中学校教育振興事業費、説明のところの一番下、委託料、創立 10 周年記念リーフレット作成委託のところですけども、奥多摩中学校は来年度で 10 周年ということで、ほかに 10 周年の記念に関する予算が計上されていないので、リーフレットだけの作成に終わってしまうのかということ伺います。

以上 2 点です。

○委員長(榎戸 雄一君) 教育課長。

○教育課長(清水 俊雄君) 4 番、相田委員さんのご質問にお答えします。

1 点目が 195 ページ、事業 (02) 準要保護等生徒就学援助事業費で、事業費が減っているという理由は何かというお話ですけども、こちら来年度から給食費のところでは全員無償化で、そちらで給食費の無償化の部分を見るようになります。従前ですと、準要保護の方につきましては、こちらのところで給食費の助成をしていたんですけども、そちらが給食費のほうに変わるということで減になっております。

続いて、ページが 195 ページの事業 (03) 奥多摩中学校教育振興事業費の委託料のところでは創立 10 周年のリーフレット作成ということで、ほかにはないのかというお尋ねですけども、193 ページの事業 (02) 奥多摩中学校管理費、説明の消耗品 01 のところで消耗品を組んでございますけども、こちらのほうは昨年に比べて 50 万円増額させていただいています。こちら中学校でバッジ等を作りたい話をいただいています、まだ詳細は詰め切れていないんですけども、そのようなものも作る予定でおります。

以上です。

○委員長(榎戸 雄一君) 4 番、相田委員。

○4 番(相田恵美子君) ありがとうございます。給食費は無償化になるということで、この予算になったということなんですけど、これは小学校費も同様の理由であると思うんですけども、今現在、町に小学校と中学校で何人いらっしゃるのかということと、先程奥多摩中学校の 2 年生のイノベーションのお話をしましたけども、その消耗品費の中にそれも含まれるのか、これから検討するのかということも含めて伺います。

○委員長(榎戸 雄一君) 教育課長。

○教育課長(清水 俊雄君) 4 番、相田委員さんの再質問にお答えします。

先程数字を言っていないで失礼しました。まず小学校の準要保護の人数は 19 名です。中学校は 10 名となっております。

2 点目のご質問で、奥多摩イノベーションのときに、子どもたちが 5,000 人ぐらいの人たちを呼んでイベントをやりたいということで、そのような発表をしたと思うんですけども、今回この消耗品のところにつきましては、その費用は考えておりません。最初に予算づけをするのではなくて、子どもたちが主体的に考えてやりたいことがあって、その発表の場でも自分たちでクラウドファンディングでお金を集めて事業を実施するとか、自分たちで考えて進めています。先程企画財政課長のほうからも申しましたが、やはり結果的にお金が足りない、そういうことがありましたら町のほうでも手当てはすることは考えています。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 4 番、相田委員。

○4 番（相田恵美子君） ありがとうございます。それでは、町としても、教育委員会としても、子どもたちの後押しをしていくという理解でよろしいでしょうか。

○委員長（榎戸 雄一君） 教育課長。

○教育課長（清水 俊雄君） 4 番、相田委員さんの再々質問にお答えします。

そのとおり協力いたします。

○委員長（榎戸 雄一君） 3 番、森田委員。

○3 番（相田恵美子君） 3 番、森田です。

ページ数が 184 ページ、款 10 教育費、項 01 教育総務費、目 03 教育指導費、事業 (01) 教育指導費で、節 07 報償費、いじめ問題対策委員会報償ということで 38 万 5,000 円ついておりますが、委員会のメンバーが何人で、それとこのいじめ問題、現在、奥多摩町の不登校児は何人いるのかということをお伺いしたいのと、ページ数 199 ページ、給食費です。節 18 負担金・補助及び交付金で、給食材料費負担金 1,326 万 9,000 円ついております。それで令和 4 年度が 0 円で、令和 5 年度がやはり 1,326 万 9,000 円、令和 6 年度が 0 円で、隔年でついているんですが、これはどういう理由か、教えていただけたらと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 教育課長。

○教育課長（清水 俊雄君） 3 番、森田委員さんのご質問にお答えします。

1 点目ですけども、184 ページ、事業の教育指導費、節が 07 報償費の一番下の下段になりますけども、いじめ問題対策委員会ということです。こちらのほうは、いじめ問題で

重大な案件になった場合、この委員会を組織するような形になります。奥多摩町は現状、学校のほうでもよく子どもたち見ていただいていますので、重大な案件になったものはございません。

しかし、他の西多摩を見ましても、瑞穂、日の出町は、今既にこのような委員会を設置していきまして、重大な案件に至ったときは、こちらの委員会を開くという形になります。通常は開かない形で、案件があったときのみ費用が発生する形になります。

委員構成ですけれども、こちら第三者委員会という形を取っていきまして、町寄りの偏った意見とか、そういうのを排除するために、まず医師、弁護士、臨床心理士、公立学校の退職者、スクールソーシャルワーカー、青梅警察署、その他有識者、そのようなところで、例えば弁護士だったら弁護士会とか、そちらにどなたか推薦をいただくような形で委員を構成するように考えております。

不登校の関係です。不登校につきましては、今、いじめを原因とした不登校の子はおりません。家庭の事情だとか、ちょっと自分でという形の子がいて、小学校が1名、中学校は3名といった状況です。

いじめ対策委員会の委員の数ですけど、7名以内ということで行ってまいります。

2点目が199ページ、給食管理費、節18負担金・補助及び交付金で、最下段の給食食材費負担金です。こちら先程委員さんの話ですと、5年度に予算計上されていたという話なんですけれども、こちらの予算、来年度からつくものなので、以前はずっとゼロという形で推移しております。

ちなみに今までは少子化対策のほうで、福祉の民生費のほうで、こちらのお金を一旦保護者に給食費を払ってもらっていたんですけども、その分をお返しするような制度を使っていたんですけども、そちらから今度給食費に制度のほうを変えます。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。8番、宮野委員。

○8番（宮野 亨君） 8番、宮野でございます。

195ページ、節でいうと18負担金・補助及び交付金、説明欄では、遠距離通学費補助金。この遠距離の意味が分からないというんじゃないけど、大丹波とか峰谷だとかそういうことを指しているのかどうか、ちょっと語句の説明をお願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 教育課長。

○教育課長（清水 俊雄君） 8番、宮野委員さんのご質問にお答えします。

ページが195ページ、中学校教育振興費、その18の負担金・補助及び交付金の中の

遠距離通学費ということですが、こちら小学校も同時にございまして、小学生に関しましては2km以上、中学校は3km以上、学校から離れている方は、公共の交通機関に乗っていただいて通学してくるということで、それに対する補助となっております。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかにありませんか。2番、伊藤委員。

○2番（伊藤 英人君） 2番、伊藤です。

202 ページになります。目 02 青少年対策費で事業としても（01）の青少年対策事業費、節 14 工事請負費、一番下です。説明としては園地整備及び遊具撤去・設置工事なんですけれども、令和7年度具体的にはどこで何か所、どういったことをするのか、ご説明いただければと思います。

○委員長（榎戸 雄一君） 教育課長。

○教育課長（清水 俊雄君） 2番、伊藤委員さんのご質問にお答えします。

ページが202ページ、事業（01）青少年対策事業費の中の節14 工事請負費、どちらのほうで令和7年度を予定しているのかということですが、7年度はまだ実施予定の場所は決まっておりません。大体地域のほうからの要望で受けるような形になっております。今年度令和6年度につきましては、今、丹三郎の生活館に遊具があると思うんですけども、こちらを生活改善要望のほうで少し遊具の塗装等が剥がれているということでその補修しております。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑ありますか。5番、大澤委員。

○5番（大澤由香里君） 5番、大澤です。

188 ページ、古里小学校管理費、節 17 の備品購入費のところ。新しく古里小の校庭にバスケットゴールを設置するというお話だったんですが、なぜ古里小だけなのかなと、氷川小にはつけないのかなと単純に思いましたので、その辺のいきさつというか、ありましたら教えてください。

あと203 ページ、社会教育費、目（01）青少年対策事業費、節 18 負担金・補助及び交付金のところの4行目、神津島洋上セミナーで、今回子どもの受入れをしないというようにお話だったと思うんですが、去年、子どもたち行っていて、例年ですと、交互に行ったり来たりしていると思うんですが、その理由が分かりましたら教えてください。

あと211 ページの項 06 保健体育費、目（01）学校開放事業費、節 12 の委託料のところ、古里小プールの監視等業務の委託で1,251万2,000円ということですが、水泳教室、一般質問でもさせていただいたんですけども、非常に保護者のほう喜んでくださっています。

その水泳教室にかかる費用というのはこの中でどれぐらいかかるのかというのが分かりましたらお願いします。

○委員長（榎戸 雄一君） 教育課長。

○教育課長（清水 俊雄君） 5番、大澤委員さんのご質問にお答えします。

1点目がページが188ページ、事業（02）古里小学校管理費の17備品購入費で、バスケットゴールの購入ということでご質問いただいて、氷川小はなぜ買わないのかという話です。こちらは氷川小のほうにも聞いたんですけども、氷川小はまだバスケットゴールがあるんです。ですので、古里小のほうは欲しいんだけど、氷川小は、ほかのものを手当てしております。

2点目が203ページ、事業（01）青少年対策事業費の洋上セミナーの神津島からの受入れのところ、こちら来るほうは隔年で受け入れています。今年は来週受け入れる予定になっています。なので7年度は受入れはなしという形になっております。

次に、211ページの事業（01）学校開放事業費で古里小監視業務委託の中のプールの指導という形の金額は幾らかということですが、こちら36万円ほどです。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑はありませんか。6番、澤本委員。

○6番（澤本 幹男君） 6番、澤本です。

204ページの項05社会教育費の中の節18負担金・補助及び交付金で、文化財保護事業ということで300万、また、私も去年一般質問でさせていただいて、いろいろありがとうございました。それで、文化財保護は非常に大事な部分であるんですけど、これ何に使われているかを聞きたいのですが、具体的にすみません。

○委員長（榎戸 雄一君） 教育課長。

○教育課長（清水 俊雄君） 6番、澤本委員さんのご質問にお答えします。

ページが204ページ、事業のほう（01）文化財保護事業費の中で節18負担金・補助及び交付金のところで、最下段、文化財保存事業費補助金ということで、こちらのほう今年度は小丹波のこ組で太鼓のほうをそろえております。来年度におきましては、現在南氷川のおはやしのほうが、おはやしの道具といたしますか、その辺を直したいというお話いただいております。まだ詳細は決まっていませんけども、大丹波の青木神社と栃久保の根元神社のほうもまだ金額等は決まっていませんけども、お話だけは受け入れているような状況です。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 6番、澤本委員。

○6番（澤本 幹男君） ありがとうございます。お祭りというか例祭とかそういう地域共同芸能は、今後とも子どもの郷土愛を育てる意味で大事なんで、ぜひともこういう部分について引き続きお力をいただければありがたいと思います。

余談ですが、今度の土曜日ですけど、川井の獅子舞が板橋の区立文化会館ホールで奥多摩を代表して獅子舞を演じるというか、4団体の中の1つに選ばれて、そういうことがありますので、もちろん毎週一生懸命練習して、子どもたちも今一生懸命練習していますし、そういう意味で郷土愛が育っていますので、ぜひそういう意味では、郷土愛を育てる意味で、この郷土芸能をぜひとも引き続き力を入れていただけるとありがたいと思います。

これは東京都民俗芸能大会ということでございますけど、結構各地区も代表して出ていますので、町のほうでももっと宣伝してもらえたらありがたいなと思ったんですけど、ちょっと余談ですが、ご報告とお願いでございます。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑ありませんか。4番、相田委員。

○4番（相田恵美子君） 4番、相田です。

ページが200ページ、款10教育費、項05社会教育費の説明のところ、一番下の委託料です。委託料の文化芸術展運営委託7万円、ひな人形展運営委託7万円ですけれども、私も今年のはじめてひな人形展、かすり程度にお手伝いをさせていただいたところなんですけど、すごく大変なんですね、出したりしまったり。ひな人形展開催中も交代で受付をしたりとか、労力を考えると、このひな人形展の運営委託はちょっと安価なのかなと思ったところと、委託はどこに、文化団体連盟でしょうか。これに人件費は入っていないということでしょうか。伺います。

○委員長（榎戸 雄一君） 教育課長。

○教育課長（清水 俊雄君） 4番、相田委員さんのご質問にお答えします。

ページが200ページです。事業（01）社会教育総務費で節12委託料の上から2番目、ひな人形展運営委託ということで7万円、人件費入っているのかということですが、人件費ということではなくて、ひな展を運営するに当たりまして一切合財といいますか、お任せする形で飾りつけ、また、受付等を含めまして7万円で文化団体連盟のほうに委託しているような状況です。

以上です。

○委員長（榎戸 雄一君） 自然公園施設担当課長。

○自然公園施設担当課長（神山 正明君） 教育課とは所管外になりますけれども、このひな展に関しましては、山のふるさと村の事業の中で、東京都の協定書の中に、この教育展に協力をするといううたいがございまして、おくとま地域振興財団より職員が約5名、展示の準備、片づけ、本年度はひな人形を収納する箱の製作ということでお手伝いをさせていただいているところでございます。例年、準備と片づけに伺わせていただいております。

以上でございます。

○委員長（榎戸 雄一君） ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸 雄一君） 質疑なしと認めます。

以上で、款の9消防費以下、款の14予備費までの質疑並びに議案第20号の歳入歳出項目別の全ての質疑を終結します。

お諮りします。会議の途中でありますが、ここで暫時休憩にしたいと思いますが、ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸 雄一君） ご異議なしと認めます。

なお、休憩時間は20分と要望がありますので、4時35分から再開いたします。

午後4時17分休憩

午後4時45分再開

○委員長（榎戸 雄一君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

お諮りします。本日の会議は、これで延会したいと思います。ご異議ありませんか。

（「異議なし」と呼ぶ者あり）

○委員長（榎戸 雄一君） 異議なしと認めます。したがって、本日は、これで延会することに決定いたしました。

本日は、これで延会します。

午後4時47分延会

奥多摩町議会委員会条例第 26 条の規定によりここに署名する。

予算特別委員会委員長